

五条地域に関するアンケート調査 集計結果

平成24年3月

大阪市天王寺区役所市民協働課

<<目次>>

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査の実施状況	1
(4) 調査時期	1
(5) 回収状況	1
II. 集計結果	2
1. 五条地域での暮らしについて	2
(1) 居住年数(問1)	2
(2) 五条地域に居住した理由(問2・複数回答)	3
(3) 五条地域での暮らしに対する満足度(問3)	5
(4) 五条地域についての考え(問4)	6
【「そう思わない」理由】	17
(5) 今後の定住意向(問5)	23
(6) 今後力を入れて取り組むべきこと(問6・3つまで回答)	24
(7) まちの問題点・課題、活動の提案・アイデア(問7・自由記述)	25
(8) 五条地域について誇りに思うこと(問8・自由記述)	33
2. 近隣でのおつきあいや地域活動への参加状況について	36
(1) 近隣とおつきあいの状況(問9)	36
(2) 居住地域の町会名や町会長の認知度(問10)	37
(3) 町会への加入状況(問11)	38
(4) 地域の行事・活動への参加状況(問12)	39
(5) 各行事・活動への参加状況・認知度(問13)	40
(6) 行事・活動に参加してよかったと思うこと(問14・複数回答)	46
(7) 行事・活動に参加しない理由(問14-1・複数回答)	47
(8) 参加してみたい行事・活動(問14-2・自由記述)	48
(9) 地域の行事・活動に関する情報の到達状況(問15)	50
(10) 地域情報を知らせる上で希望する方法(問16・複数回答)	51
(11) 今後の地域活動への協力意向(問17)	52

3. 防災に関する取り組みについて	53
(1) 災害時の対策についての取り組み(問18・複数回答)	53
(2) 避難所開設・運営訓練(平成21年11月)への参加状況(問19)	55
【参加して良かった点・改善すべき点】	56
(3) 今後の避難所開設・運営訓練への参加意向(問20)	58
(4) 地域の防災対策について、知りたいことや不安に思うこと、取り組んだらよいと思うことなど(問21・自由記述)	59
4. 回答者の基本属性(問22)	64
(1) 性別	64
(2) 年齢	64
(3) 同居家族構成	65
(4) 子ども(高校生以下)の有無	65
(5) 住宅形態	66

クロス集計表の表記について

クロス集計の結果を示す表については、全体の割合より10ポイント以上大きい値を**白抜字**、5ポイント以上大きい値を**黒字**で表している。

なお、回答者数(N数)が少ないものについては、コメントしていない場合がある。

1. 調査の概要

1. 調査の目的

五条地域では、大阪市のモデル地区として、連合振興町会と地区社会福祉協議会等の参画により、地域活動協議会の設立に向けて「五条地域活動協議会準備会」を平成23年7月に設立し、五条地域がより住みよいまちになっていくための課題や取り組みについて、話し合いを重ねておられます。

このような中、五条地域をより良いまちにしていくため、地域住民の皆さんの幅広いご意見をお聞かせいただくため、アンケート調査を実施しました。

アンケート調査票は、準備会において話し合っていた内容を踏まえ準備会との協働で作成しました。

2. 調査の方法

(1) 調査対象

天王寺区五条地域在住の20歳以上の男女1,000名。(無作為抽出)

(2) 調査方法

郵送による配布・回収。

(3) 調査の実施状況

状況	件数	備考
配布数	1,000	
有効回答数	561	有効回答率：56.1%

(4) 調査時期

平成23年11月～12月

(5) 回収状況

「N =」は、当該質問の回答者数を表しており、割合を算出する時の母数である。なお、集計に当たっては、小数点第2位以下を四捨五入しているため、割合の合計は必ずしも100%にならない場合もある。

また、複数回答の質問では、割合の合計は100%を超える。

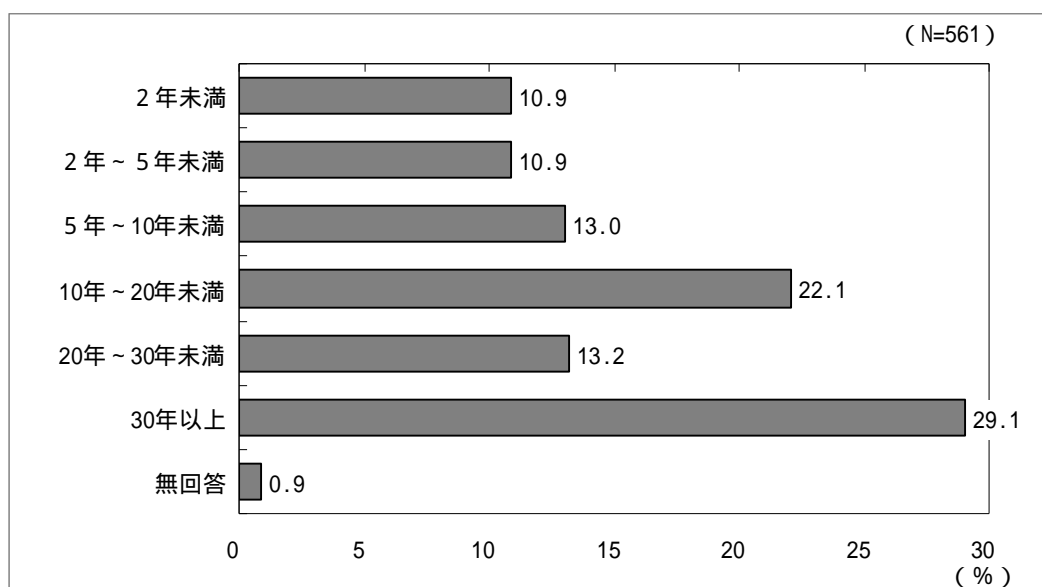
「地域活動協議会」とは、地域で活動する様々な団体や住民の皆さんによる話し合いの場で、「地域のことは地域で決める」自立的な新しい地域運営の仕組みです。地域の課題や将来像を共有化し、課題解決に向けて話し合い、行動し、地域のつながり・絆を広げていくことをめざします。

Ⅱ. 集計結果

1. 五条地域での暮らしについて

(1) 居住年数(問1)

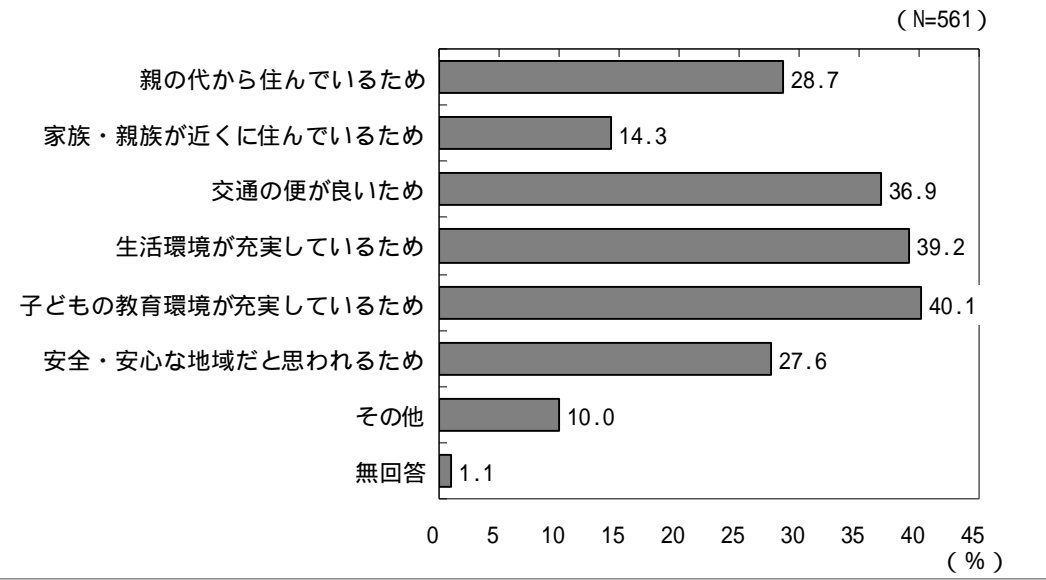
- ・「30年以上」が29.1%で最も多く、ついで「10年～20年未満」が22.1%、「20年～30年未満」が13.2%、「5年～10年未満」が13.0%となっている。
- ・住宅形態別にみると、一戸建て(持ち家)では「30年以上」が半数近くになっている。マンション等(賃貸)では、「5年未満」が半数近くである。



		2年未満	5年未満	10年未満	20年未満	30年未満	30年以上	無回答
全体	(N=561)	61 (10.9)	61 (10.9)	73 (13.0)	124 (22.1)	74 (13.2)	163 (29.1)	5 (0.9)
住宅形態	一戸建て(持ち家)	7 (2.9)	8 (3.3)	22 (9.2)	45 (18.8)	44 (18.3)	114 (47.5)	0 (0.0)
	一戸建て(賃貸)	2 (25.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	0 (0.0)
	マンション等(持ち家)	21 (11.5)	27 (14.8)	29 (15.9)	64 (35.2)	15 (8.2)	22 (12.1)	4 (2.2)
	マンション等(賃貸)	29 (26.6)	24 (22.0)	18 (16.5)	12 (11.0)	10 (9.2)	15 (13.8)	1 (0.9)
	その他	1 (9.1)	1 (9.1)	2 (18.2)	1 (9.1)	1 (9.1)	5 (45.5)	0 (0.0)

(2) 五条地域に居住した理由(問2・複数回答)

・「子どもの教育環境が充実しているため」が40.1%で最も多く、ついで「生活環境が充実しているため」が39.2%、「交通の便が良いため」が36.9%となっている。



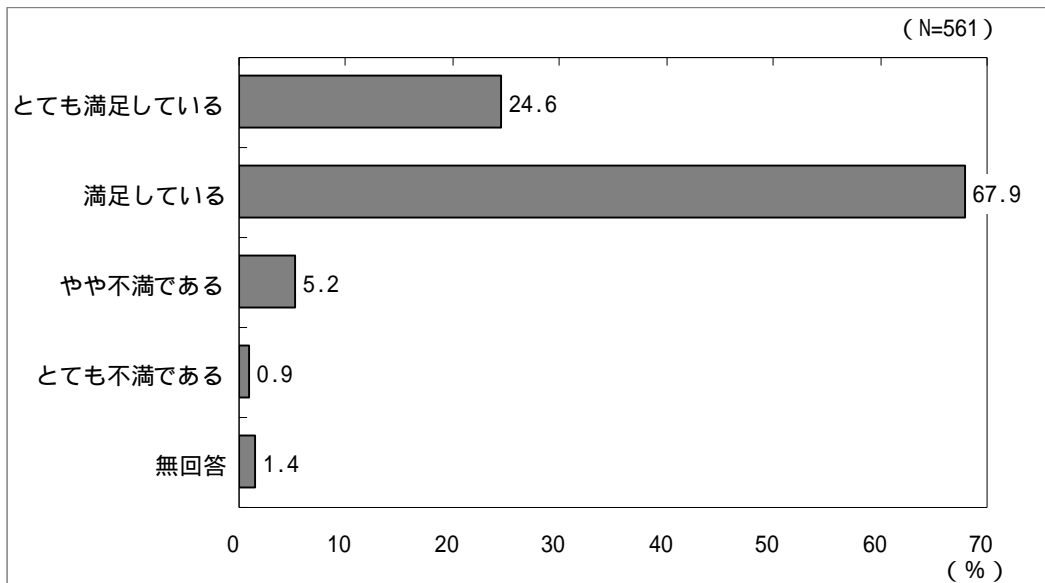
- ・年齢別にみると、「30歳代」「40歳代」では「子どもの教育環境が充実しているため」の割合が高い。
- ・家族構成別にみると、「単身（ひとり暮らし）」では「交通の便が良いため」と「生活環境が充実しているため」の割合が高い。
- ・子どもの状況別にみると、「子どもがいる」では「子どもの教育環境が充実しているため」の割合が高い。

(上段:人,下段:%)

		る親のためから住んでいる	住家族で親族が近くに	(交通の便が良いため)	て医生活環境(買実物し、)	充子(学校など)の教育環境が	犯と安全(防犯・安心な地域)	その他	無回答
全体	(N=561)	161 (28.7)	80 (14.3)	207 (36.9)	220 (39.2)	225 (40.1)	155 (27.6)	56 (10.0)	6 (1.1)
年齢	20歳代	23 (43.4)	4 (7.5)	21 (39.6)	12 (22.6)	13 (24.5)	10 (18.9)	1 (1.9)	1 (1.9)
	30歳代	17 (22.7)	20 (26.7)	27 (36.0)	22 (29.3)	38 (50.7)	26 (34.7)	10 (13.3)	1 (1.3)
	40歳代	24 (19.0)	20 (15.9)	48 (38.1)	45 (35.7)	77 (61.1)	32 (25.4)	9 (7.1)	2 (1.6)
	50歳代	27 (25.7)	13 (12.4)	38 (36.2)	50 (47.6)	38 (36.2)	29 (27.6)	10 (9.5)	1 (1.0)
	60歳代	40 (39.6)	13 (12.9)	37 (36.6)	42 (41.6)	27 (26.7)	24 (23.8)	16 (15.8)	0 (0.0)
	70歳以上	28 (32.9)	8 (9.4)	30 (35.3)	42 (49.4)	25 (29.4)	30 (35.3)	9 (10.6)	0 (0.0)
	同居する家族の構成	単身(ひとり暮らし)	16 (27.6)	5 (8.6)	30 (51.7)	29 (50.0)	9 (15.5)	14 (24.1)	5 (8.6)
夫婦のみ		36 (28.1)	13 (10.2)	47 (36.7)	57 (44.5)	37 (28.9)	41 (32.0)	12 (9.4)	2 (1.6)
2世代(親子)		88 (26.3)	57 (17.0)	121 (36.1)	124 (37.0)	170 (50.7)	92 (27.5)	36 (10.7)	4 (1.2)
3世代以上		17 (65.4)	3 (11.5)	3 (11.5)	4 (15.4)	4 (15.4)	3 (11.5)	2 (7.7)	0 (0.0)
その他		2 (66.7)	0 (0.0)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (0.0)	2 (66.7)	1 (33.3)	0 (0.0)
子ども(高校生以下)	いる(高校生以下)	39 (18.4)	46 (21.7)	77 (36.3)	77 (36.3)	131 (61.8)	55 (25.9)	16 (7.5)	2 (0.9)
	うち、未就学児がいる	10 (12.8)	23 (29.5)	31 (39.7)	22 (28.2)	47 (60.3)	23 (29.5)	8 (10.3)	2 (2.6)
	うち、小学生がいる	16 (17.6)	12 (13.2)	31 (34.1)	32 (35.2)	59 (64.8)	25 (27.5)	6 (6.6)	1 (1.1)
	うち、中学生がいる	13 (19.1)	11 (16.2)	24 (35.3)	28 (41.2)	44 (64.7)	13 (19.1)	4 (5.9)	0 (0.0)
	うち、高校生がいる	14 (23.3)	12 (20.0)	21 (35.0)	25 (41.7)	32 (53.3)	10 (16.7)	4 (6.7)	1 (1.7)
	いない	107 (37.4)	25 (8.7)	109 (38.1)	112 (39.2)	72 (25.2)	77 (26.9)	36 (12.6)	4 (1.4)

(3) 五条地域での暮らしに対する満足度(問3)

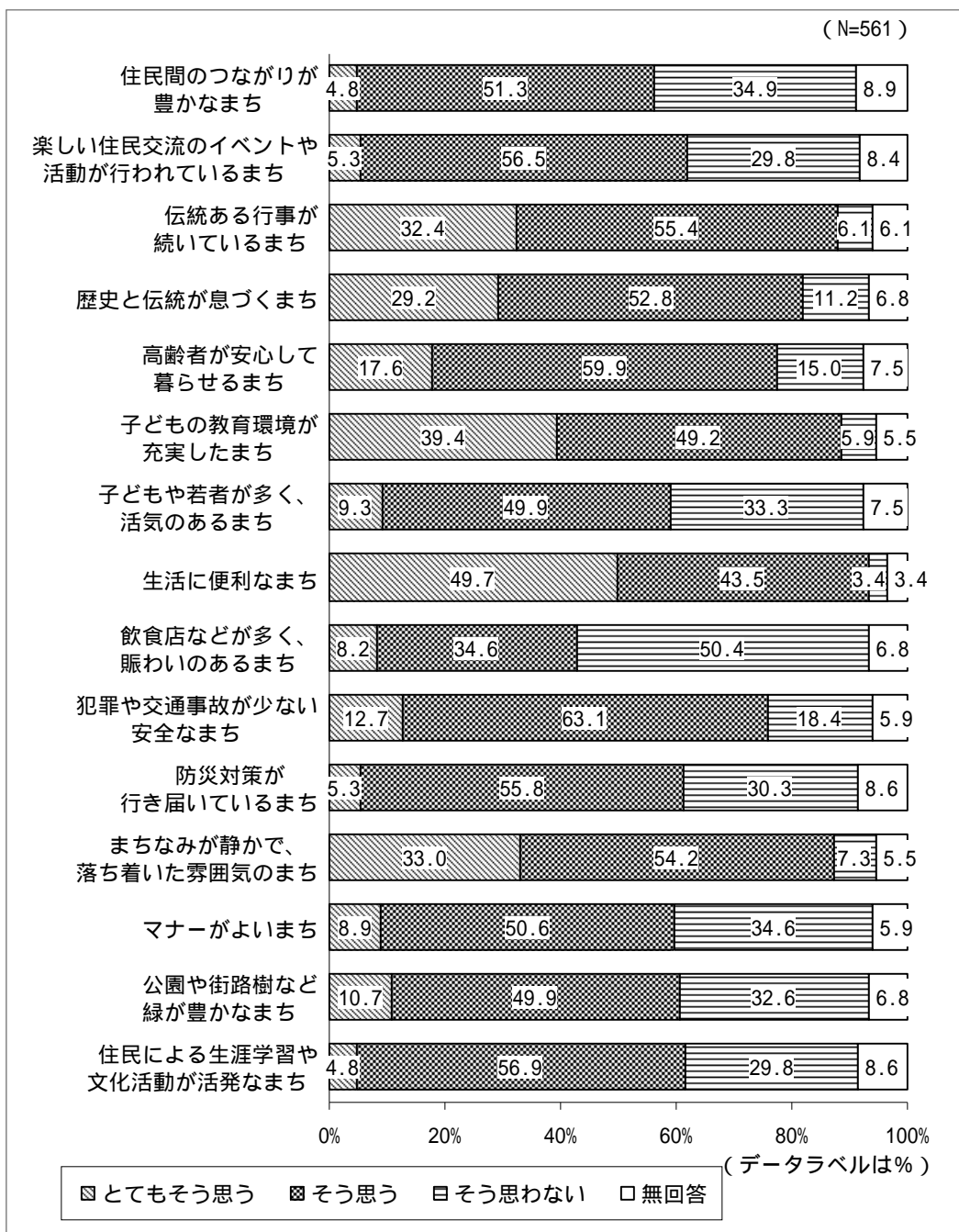
- ・「満足している」が67.9%で最も多く、ついで「とても満足している」が24.6%、となっており、満足している人(「とても満足している」と「満足している」の合計)は92.5%(24.6%+67.9%)である。
- ・性別では「男性」、年齢別では「20歳代」で「とても満足している」が多くなっている。住宅の形態による満足度の違いはみられない。



		(上段:人, 下段:%)				
		しとていもる満足	い満る足して	でややある不満	でとてもある不満	無回答
全体	(N=561)	138 (24.6)	381 (67.9)	29 (5.2)	5 (0.9)	8 (1.4)
性別	男性 (N=158)	48 (30.4)	104 (65.8)	4 (2.5)	1 (0.6)	1 (0.6)
	女性 (N=373)	86 (23.1)	259 (69.4)	21 (5.6)	1 (0.3)	6 (1.6)
年齢	20歳代 (N=53)	20 (37.7)	30 (56.6)	3 (5.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
	30歳代 (N=75)	15 (20.0)	54 (72.0)	5 (6.7)	0 (0.0)	1 (1.3)
	40歳代 (N=126)	33 (26.2)	87 (69.0)	2 (1.6)	1 (0.8)	3 (2.4)
	50歳代 (N=105)	19 (18.1)	76 (72.4)	7 (6.7)	1 (1.0)	2 (1.9)
	60歳代 (N=101)	27 (26.7)	63 (62.4)	7 (6.9)	3 (3.0)	1 (1.0)
	70歳以上 (N=85)	21 (24.7)	60 (70.6)	4 (4.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
	住宅形態	一戸建て(持ち家) (N=240)	68 (28.3)	151 (62.9)	14 (5.8)	4 (1.7)
一戸建て(賃貸) (N=8)		3 (37.5)	5 (62.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
マンション等(持ち家) (N=182)		40 (22.0)	132 (72.5)	6 (3.3)	0 (0.0)	4 (2.2)
マンション等(賃貸) (N=109)		24 (22.0)	77 (70.6)	6 (5.5)	1 (0.9)	1 (0.9)
その他 (N=11)		1 (9.1)	9 (81.8)	1 (9.1)	0 (0.0)	0 (0.0)

(4) 五条地域についての考え(問4)

- ・「そう思う」(「とてもそう思う」と「そう思う」の合計)の割合が最も高いのは「生活に便利なまち」で93.2%(49.7%+43.5%)、ついで「子どもの教育環境が充実したまち」が88.6%(39.4%+49.2%)、「伝統ある行事が続いているまち」が87.8%(32.4%+55.4%)、「まちなみが静かで、落ち着いた雰囲気のみち」が87.2%(33.0%+54.2%)となっている。
- ・一方、「そう思わない」の割合が高いのは、「飲食店などが多く、賑わいのあるまち」「住民間のつながりが豊かなまち」「マナーがよいまち」となっている。



住民間のつながりが豊かなまち

- ・子どもの状況別にみると、「中学生がいる」では、「そう思う」の割合が高くなっている。住宅形態別にみると、大きな違いは見られない。
- ・町会への加入状況別にみると、「加入していない」では「そう思わない」の割合が高くなっている。「加入している」でも「そう思わない」の割合は33.3%となっている。

(上段:人,下段:%)

		そと うて 思 も う	そ う 思 う	思 そ わ う な い	無 回 答	
全体		(N=561)	27 (4.8)	288 (51.3)	196 (34.9)	50 (8.9)
子ども (高校生 以下)	いる(高校生以下)	(N=212)	10 (4.7)	116 (54.7)	75 (35.4)	11 (5.2)
	うち、未就学児がいる	(N=78)	4 (5.1)	39 (50.0)	32 (41.0)	3 (3.8)
	うち、小学生がいる	(N=91)	4 (4.4)	49 (53.8)	35 (38.5)	3 (3.3)
	うち、中学生がいる	(N=68)	4 (5.9)	44 (64.7)	18 (26.5)	2 (2.9)
	うち、高校生がいる	(N=60)	3 (5.0)	32 (53.3)	19 (31.7)	6 (10.0)
	いない	(N=286)	15 (5.2)	144 (50.3)	101 (35.3)	26 (9.1)
住宅 形態	一戸建て(持ち家)	(N=240)	12 (5.0)	123 (51.3)	82 (34.2)	23 (9.6)
	一戸建て(賃貸)	(N=8)	2 (25.0)	5 (62.5)	0 (0.0)	1 (12.5)
	マンション等(持ち家)	(N=182)	8 (4.4)	93 (51.1)	67 (36.8)	14 (7.7)
	マンション等(賃貸)	(N=109)	5 (4.6)	56 (51.4)	41 (37.6)	7 (6.4)
	その他	(N=11)	0 (0.0)	8 (72.7)	3 (27.3)	0 (0.0)
町会への 加入	加入している	(N=417)	23 (5.5)	216 (51.8)	139 (33.3)	39 (9.4)
	加入していない	(N=69)	2 (2.9)	35 (50.7)	29 (42.0)	3 (4.3)
	わからない	(N=71)	2 (2.8)	35 (49.3)	27 (38.0)	7 (9.9)

楽しい住民交流のイベントや活動が行われているまち

- ・子どもの状況別にみると、「子どもがいる」で「そう思う」の割合が高くなっている。
- ・年齢別にみると「20歳代」、家族構成別にみると「単身(ひとり暮らし)」、町会への加入状況別にみると「加入していない」で「そう思わない」の割合が高くなっている。

(上段:人,下段:%)

		そと うも う	そ う 思 う	思 そ わ う な い	無 回 答	
全体		(N=561)	30 (5.3)	317 (56.5)	167 (29.8)	47 (8.4)
年齢	20歳代	(N=53)	4 (7.5)	27 (50.9)	21 (39.6)	1 (1.9)
	30歳代	(N=75)	4 (5.3)	44 (58.7)	24 (32.0)	3 (4.0)
	40歳代	(N=126)	8 (6.3)	77 (61.1)	36 (28.6)	5 (4.0)
	50歳代	(N=105)	4 (3.8)	60 (57.1)	33 (31.4)	8 (7.6)
	60歳代	(N=101)	5 (5.0)	54 (53.5)	33 (32.7)	9 (8.9)
	70歳以上	(N=85)	4 (4.7)	50 (58.8)	15 (17.6)	16 (18.8)
同居する 家族の構 成	単身(ひとり暮らし)	(N=58)	3 (5.2)	26 (44.8)	21 (36.2)	8 (13.8)
	夫婦のみ	(N=128)	8 (6.3)	69 (53.9)	39 (30.5)	12 (9.4)
	2世代(親子)	(N=335)	18 (5.4)	203 (60.6)	96 (28.7)	18 (5.4)
	3世代以上	(N=26)	1 (3.8)	13 (50.0)	7 (26.9)	5 (19.2)
	その他	(N=3)	0 (0.0)	2 (66.7)	1 (33.3)	0 (0.0)
子ども (高校生 以下)	いる(高校生以下)	(N=212)	16 (7.5)	132 (62.3)	56 (26.4)	8 (3.8)
	うち、未就学児がいる	(N=78)	7 (9.0)	45 (57.7)	24 (30.8)	2 (2.6)
	うち、小学生がいる	(N=91)	6 (6.6)	59 (64.8)	24 (26.4)	2 (2.2)
	うち、中学生がいる	(N=68)	5 (7.4)	47 (69.1)	14 (20.6)	2 (2.9)
	うち、高校生がいる	(N=60)	5 (8.3)	35 (58.3)	16 (26.7)	4 (6.7)
	いない	(N=286)	12 (4.2)	155 (54.2)	92 (32.2)	27 (9.4)
町会への 加入	加入している	(N=417)	22 (5.3)	245 (58.8)	115 (27.6)	35 (8.4)
	加入していない	(N=69)	4 (5.8)	34 (49.3)	26 (37.7)	5 (7.2)
	わからない	(N=71)	4 (5.6)	37 (52.1)	23 (32.4)	7 (9.9)

伝統ある行事（夏祭り、地蔵盆等）が続いているまち

・年齢別にみると「30歳代」、子どもの状況別にみると「子どもがいる」、居住年数別にみると「2～5年未満」で「とてもそう思う」の割合が高くなっている。

(上段:人,下段:%)

		そと うて 思も う	そ う 思 う	思 そ わ う な い	無 回 答
全体		(N=561) 182 (32.4)	311 (55.4)	34 (6.1)	34 (6.1)
年齢	20歳代	(N=53) 16 (30.2)	30 (56.6)	6 (11.3)	1 (1.9)
	30歳代	(N=75) 32 (42.7)	38 (50.7)	3 (4.0)	2 (2.7)
	40歳代	(N=126) 49 (38.9)	63 (50.0)	10 (7.9)	4 (3.2)
	50歳代	(N=105) 29 (27.6)	63 (60.0)	7 (6.7)	6 (5.7)
	60歳代	(N=101) 32 (31.7)	60 (59.4)	6 (5.9)	3 (3.0)
	70歳以上	(N=85) 23 (27.1)	47 (55.3)	1 (1.2)	14 (16.5)
子ども (高校生 以下)	いる(高校生以下)	(N=212) 90 (42.5)	103 (48.6)	12 (5.7)	7 (3.3)
	うち、未就学児がいる	(N=78) 35 (44.9)	37 (47.4)	4 (5.1)	2 (2.6)
	うち、小学生がいる	(N=91) 45 (49.5)	40 (44.0)	5 (5.5)	1 (1.1)
	うち、中学生がいる	(N=68) 29 (42.6)	34 (50.0)	4 (5.9)	1 (1.5)
	うち、高校生がいる	(N=60) 21 (35.0)	31 (51.7)	4 (6.7)	4 (6.7)
	いない	(N=286) 78 (27.3)	168 (58.7)	20 (7.0)	20 (7.0)
居住 年数	2年未満	(N=61) 14 (23.0)	35 (57.4)	6 (9.8)	6 (9.8)
	2年～5年未満	(N=61) 26 (42.6)	28 (45.9)	5 (8.2)	2 (3.3)
	5年～10年未満	(N=73) 29 (39.7)	37 (50.7)	4 (5.5)	3 (4.1)
	10年～20年未満	(N=124) 40 (32.3)	73 (58.9)	6 (4.8)	5 (4.0)
	20年～30年未満	(N=74) 18 (24.3)	47 (63.5)	6 (8.1)	3 (4.1)
	30年以上	(N=163) 52 (31.9)	89 (54.6)	7 (4.3)	15 (9.2)

歴史と伝統が息づくまち

・年齢別にみると「30歳代」「40歳代」、子どもの状況別にみると「未就学児がいる」「小学生がいる」で「とてもそう思う」の割合が高くなっている。

(上段:人, 下段:%)

		そと うて 思も う	そ う 思 う	思そ わ う な い	無 回 答	
全体		(N=561)	164 (29.2)	296 (52.8)	63 (11.2)	38 (6.8)
年齢	20歳代	(N=53)	9 (17.0)	28 (52.8)	15 (28.3)	1 (1.9)
	30歳代	(N=75)	27 (36.0)	39 (52.0)	7 (9.3)	2 (2.7)
	40歳代	(N=126)	44 (34.9)	68 (54.0)	10 (7.9)	4 (3.2)
	50歳代	(N=105)	25 (23.8)	64 (61.0)	10 (9.5)	6 (5.7)
	60歳代	(N=101)	34 (33.7)	49 (48.5)	12 (11.9)	6 (5.9)
	70歳以上	(N=85)	23 (27.1)	41 (48.2)	6 (7.1)	15 (17.6)
	子ども (高校生 以下)	いる(高校生以下)	(N=212)	69 (32.5)	120 (56.6)	15 (7.1)
うち、未就学児がいる		(N=78)	28 (35.9)	41 (52.6)	7 (9.0)	2 (2.6)
うち、小学生がいる		(N=91)	34 (37.4)	47 (51.6)	9 (9.9)	1 (1.1)
うち、中学生がいる		(N=68)	21 (30.9)	41 (60.3)	5 (7.4)	1 (1.5)
うち、高校生がいる		(N=60)	16 (26.7)	35 (58.3)	4 (6.7)	5 (8.3)
いない		(N=286)	79 (27.6)	142 (49.7)	43 (15.0)	22 (7.7)

高齢者が安心して暮らせるまち

・年齢別にみると、「20歳代」「30歳代」で「とてもそう思う」の割合が高くなっている。

		(上段:人, 下段:%)				
		そと うて 思も う	そ う 思 う	思そ わ う な い	無 回 答	
全体		(N=561)	99 (17.6)	336 (59.9)	84 (15.0)	42 (7.5)
年齢	20歳代	(N=53)	13 (24.5)	29 (54.7)	10 (18.9)	1 (1.9)
	30歳代	(N=75)	17 (22.7)	39 (52.0)	16 (21.3)	3 (4.0)
	40歳代	(N=126)	22 (17.5)	81 (64.3)	17 (13.5)	6 (4.8)
	50歳代	(N=105)	18 (17.1)	66 (62.9)	13 (12.4)	8 (7.6)
	60歳代	(N=101)	13 (12.9)	66 (65.3)	17 (16.8)	5 (5.0)
	70歳以上	(N=85)	14 (16.5)	48 (56.5)	8 (9.4)	15 (17.6)

子どもの教育環境が充実したまち

・子どもの状況別にみると「未就学児がいる」「小学生がいる」「中学生がいる」で「とてもそう思う」の割合が高くなっている。

		(上段:人, 下段:%)				
		そと うて 思も う	そ う 思 う	思そ わ う な い	無 回 答	
全体		(N=561)	221 (39.4)	276 (49.2)	33 (5.9)	31 (5.5)
子ども (高校生 以下)	いる(高校生以下)	(N=212)	102 (48.1)	89 (42.0)	14 (6.6)	7 (3.3)
	うち、未就学児がいる	(N=78)	39 (50.0)	30 (38.5)	7 (9.0)	2 (2.6)
	うち、小学生がいる	(N=91)	46 (50.5)	35 (38.5)	9 (9.9)	1 (1.1)
	うち、中学生がいる	(N=68)	37 (54.4)	27 (39.7)	3 (4.4)	1 (1.5)
	うち、高校生がいる	(N=60)	21 (35.0)	31 (51.7)	4 (6.7)	4 (6.7)
	いない	(N=286)	101 (35.3)	150 (52.4)	16 (5.6)	19 (6.6)

子どもや若者が多く、活気のあるまち

・年齢別にみると、「20歳代」「30歳代」「40歳代」で「とてもそう思う」「そう思う」の割合が高くなっている。一方、「50歳代」「60歳代」では「そう思わない」の割合が高い。

(上段:人,下段:%)

		そと うて 思も う	そ う 思 う	思そ わ う な い	無 回 答	
全体		(N=561)	52 (9.3)	280 (49.9)	187 (33.3)	42 (7.5)
年齢	20歳代	(N=53)	8 (15.1)	37 (69.8)	7 (13.2)	1 (1.9)
	30歳代	(N=75)	14 (18.7)	42 (56.0)	16 (21.3)	3 (4.0)
	40歳代	(N=126)	19 (15.1)	77 (61.1)	26 (20.6)	4 (3.2)
	50歳代	(N=105)	3 (2.9)	53 (50.5)	44 (41.9)	5 (4.8)
	60歳代	(N=101)	4 (4.0)	37 (36.6)	54 (53.5)	6 (5.9)
	70歳以上	(N=85)	3 (3.5)	33 (38.8)	31 (36.5)	18 (21.2)

生活に便利なまち（買い物、医療など）

・年齢別にみると、「20歳代」「30歳代」で「とてもそう思う」の割合が高くなっている。いずれの年齢でも「そう思わない」の割合は低い。

(上段:人,下段:%)

		そと うて 思も う	そ う 思 う	思そ わ う な い	無 回 答	
全体		(N=561)	279 (49.7)	244 (43.5)	19 (3.4)	19 (3.4)
年齢	20歳代	(N=53)	37 (69.8)	16 (30.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
	30歳代	(N=75)	46 (61.3)	26 (34.7)	1 (1.3)	2 (2.7)
	40歳代	(N=126)	58 (46.0)	59 (46.8)	5 (4.0)	4 (3.2)
	50歳代	(N=105)	50 (47.6)	46 (43.8)	6 (5.7)	3 (2.9)
	60歳代	(N=101)	49 (48.5)	46 (45.5)	4 (4.0)	2 (2.0)
	70歳以上	(N=85)	32 (37.6)	45 (52.9)	3 (3.5)	5 (5.9)

飲食店などが多く、賑わいのあるまち

・年齢別にみると、「20歳代」「30歳代」で「とてもそう思う」「そう思う」の割合が高くなっている。一方、「60歳代」では「そう思わない」の割合が高い。

(上段:人,下段:%)

		そと うて 思も う	そ う 思 う	思そ わ う な い	無 回 答	
全体		(N=561)	46 (8.2)	194 (34.6)	283 (50.4)	38 (6.8)
年齢	20歳代	(N=53)	7 (13.2)	24 (45.3)	21 (39.6)	1 (1.9)
	30歳代	(N=75)	8 (10.7)	31 (41.3)	34 (45.3)	2 (2.7)
	40歳代	(N=126)	13 (10.3)	46 (36.5)	63 (50.0)	4 (3.2)
	50歳代	(N=105)	7 (6.7)	39 (37.1)	52 (49.5)	7 (6.7)
	60歳代	(N=101)	6 (5.9)	28 (27.7)	63 (62.4)	4 (4.0)
	70歳以上	(N=85)	4 (4.7)	24 (28.2)	42 (49.4)	15 (17.6)

犯罪や交通事故が少ない安全なまち

・居住年数別にみると、「2年～5年未満」で「そう思う」の割合が高くなっている。一方、「20年～30年未満」では「そう思わない」の割合が高い。

(上段:人,下段:%)

		そと うて 思も う	そ う 思 う	思そ わ う な い	無 回 答	
全体		(N=561)	71 (12.7)	354 (63.1)	103 (18.4)	33 (5.9)
居住 年数	2年未満	(N=61)	5 (8.2)	39 (63.9)	11 (18.0)	6 (9.8)
	2年～5年未満	(N=61)	10 (16.4)	42 (68.9)	8 (13.1)	1 (1.6)
	5年～10年未満	(N=73)	11 (15.1)	47 (64.4)	13 (17.8)	2 (2.7)
	10年～20年未満	(N=124)	17 (13.7)	77 (62.1)	24 (19.4)	6 (4.8)
	20年～30年未満	(N=74)	9 (12.2)	43 (58.1)	19 (25.7)	3 (4.1)
	30年以上	(N=163)	19 (11.7)	103 (63.2)	26 (16.0)	15 (9.2)

防災対策が行き届いているまち

- ・子どもの状況別にみると、「子どもがいる」で「そう思わない」の割合が高くなっている。とりわけ「中学生がいる」で「そう思わない」の割合が高い。

(上段:人, 下段:%)

		そと うて 思も う	そ う 思 う	思そ わ う な い	無 回 答	
全体		(N=561)	30 (5.3)	313 (55.8)	170 (30.3)	48 (8.6)
子ども (高校生 以下)	いる(高校生以下)	(N=212)	13 (6.1)	114 (53.8)	75 (35.4)	10 (4.7)
	うち、未就学児がいる	(N=78)	4 (5.1)	44 (56.4)	26 (33.3)	4 (5.1)
	うち、小学生がいる	(N=91)	6 (6.6)	55 (60.4)	28 (30.8)	2 (2.2)
	うち、中学生がいる	(N=68)	3 (4.4)	33 (48.5)	30 (44.1)	2 (2.9)
	うち、高校生がいる	(N=60)	3 (5.0)	31 (51.7)	21 (35.0)	5 (8.3)
	いない	(N=286)	17 (5.9)	163 (57.0)	79 (27.6)	27 (9.4)

まちなみが静かで、落ち着いた雰囲気のみち

- ・年齢別にみると、「30歳代」「60歳代」で「そう思う」の割合が高くなっている。一方、「20歳代」で「そう思わない」の割合が高い。

(上段:人, 下段:%)

		そと うて 思も う	そ う 思 う	思そ わ う な い	無 回 答	
全体		(N=561)	185 (33.0)	304 (54.2)	41 (7.3)	31 (5.5)
年齢	20歳代	(N=53)	20 (37.7)	23 (43.4)	9 (17.0)	1 (1.9)
	30歳代	(N=75)	26 (34.7)	45 (60.0)	2 (2.7)	2 (2.7)
	40歳代	(N=126)	47 (37.3)	60 (47.6)	15 (11.9)	4 (3.2)
	50歳代	(N=105)	31 (29.5)	61 (58.1)	9 (8.6)	4 (3.8)
	60歳代	(N=101)	35 (34.7)	62 (61.4)	2 (2.0)	2 (2.0)
	70歳以上	(N=85)	25 (29.4)	43 (50.6)	4 (4.7)	13 (15.3)

マナーがよいまち（美化、ペット、自転車など）

・年齢別にみると、「20歳代」「30歳代」「70歳以上」で「そう思う」の割合が高くなっている。一方、「40歳代」「50歳代」で「そう思わない」の割合が高い。

(上段:人,下段:%)

			そと うて 思も う	そ う 思 う	思そ わ う な い	無 回 答
全体		(N=561)	50 (8.9)	284 (50.6)	194 (34.6)	33 (5.9)
年齢	20歳代	(N=53)	5 (9.4)	30 (56.6)	18 (34.0)	0 (0.0)
	30歳代	(N=75)	12 (16.0)	44 (58.7)	17 (22.7)	2 (2.7)
	40歳代	(N=126)	12 (9.5)	57 (45.2)	53 (42.1)	4 (3.2)
	50歳代	(N=105)	7 (6.7)	49 (46.7)	43 (41.0)	6 (5.7)
	60歳代	(N=101)	6 (5.9)	52 (51.5)	39 (38.6)	4 (4.0)
	70歳以上	(N=85)	5 (5.9)	49 (57.6)	18 (21.2)	13 (15.3)

公園や街路樹など緑が豊かなまち

・子どもの状況別にみると、「子どもがいる」で「そう思わない」の割合が高くなっている。とりわけ「小学生がいる」「中学生がいる」「高校生がいる」で「そう思わない」の割合が高い。

(上段:人,下段:%)

			そと うて 思も う	そ う 思 う	思そ わ う な い	無 回 答
全体		(N=561)	60 (10.7)	280 (49.9)	183 (32.6)	38 (6.8)
子ども (高校生 以下)	いる(高校生以下)	(N=212)	24 (11.3)	96 (45.3)	86 (40.6)	6 (2.8)
	うち、未就学児がいる	(N=78)	14 (17.9)	33 (42.3)	29 (37.2)	2 (2.6)
	うち、小学生がいる	(N=91)	6 (6.6)	39 (42.9)	45 (49.5)	1 (1.1)
	うち、中学生がいる	(N=68)	4 (5.9)	30 (44.1)	33 (48.5)	1 (1.5)
	うち、高校生がいる	(N=60)	4 (6.7)	27 (45.0)	26 (43.3)	3 (5.0)
	いない	(N=286)	31 (10.8)	154 (53.8)	78 (27.3)	23 (8.0)

住民による生涯学習や文化活動が活発なまち

・子どもの状況別にみると、「子どもがいる」で「そう思う」の割合が高くなっている。とりわけ「未就学児がいる」「小学生がいる」「中学生がいる」で「そう思う」の割合が高い。

(上段:人,下段:%)

		そと うても 思う	そ う 思 う	思 わ な い	無 回 答	
全体	(N=561)	27 (4.8)	319 (56.9)	167 (29.8)	48 (8.6)	
子ども (高校生 以下)	いる(高校生以下)	(N=212)	11 (5.2)	140 (66.0)	54 (25.5)	7 (3.3)
	うち、未就学児がいる	(N=78)	4 (5.1)	54 (69.2)	18 (23.1)	2 (2.6)
	うち、小学生がいる	(N=91)	5 (5.5)	61 (67.0)	24 (26.4)	1 (1.1)
	うち、中学生がいる	(N=68)	3 (4.4)	47 (69.1)	17 (25.0)	1 (1.5)
	うち、高校生がいる	(N=60)	3 (5.0)	34 (56.7)	19 (31.7)	4 (6.7)
	いない	(N=286)	14 (4.9)	143 (50.0)	97 (33.9)	32 (11.2)

【「そう思わない」理由】

住民間のつながりが豊かなまち

自分自身が隣近所とのつきあいが少ないから

- ・隣近所とはほとんど交流がなくあいさつ程度である。
- ・子どもは独立したので、地域の学校と交流がないので。
- ・一人暮らしのため、他の住民との交流がない。
- ・共働きなので、地域の方と関わる機会がほとんどありません。

住民交流が活発と感じないから

- ・住民間のつながりが回覧版のみ。
- ・マンションの掲示板を見るだけだから分からないです。
- ・生活をしていて住民の交流をあまり感じないから。
- ・住んでいる町内では餅つきがない。楽しい企画が必要。
- ・住民間のつながりはありそうでない感じ。親しい人同士は集まるが、そうではないと全く関心がないという雰囲気。
- ・住民間では交流があるが、なにかに所属しないと、それほど交流はないように感じる。

マンションとの交流が少ない

- ・高層マンションが増え、地域とのつながりが少ない。
- ・最近新しいマンションも多く、誰が住んでいるかよくわからない。
- ・高層マンションが増え、人と人とのつきあいがなく街の人通りも少ない。人が増えても活気があるようには思えない。

楽しい住民交流のイベントや活動が行われているまち

いつ行われているのかを知らない

- ・イベント・行事がいつどのように行われているかわからないから。
- ・どこで何が行われているか分からない。わかりやすい案内(お知らせ)をしてほしい。
- ・掲示板に大きな催しはあっても、日常的な活動についてはわからない。
- ・子どもが小学校から私立であるため、地域のイベントに触れる機会がないし、情報もこない。知り合いも少なく、たとえ何かに参加してもおもしろくない。

「参加したい」と思うイベント・行事がない

- ・「楽しい」イベントだとは思わない。
- ・自身が参加するものがないので。
- ・住民の交流イベントには参加したことがない。小さい子どももいないし老人でもないので、あまりどんなことをやっているか知らない。
- ・住民交流のイベントや活動内容が多く地域・区などと変わらない(特色がない)。
- ・イベントは年一回の「区民祭り」しか浮かびません。

伝統ある行事（夏祭り、地蔵盆等）が続いているまち

参加者が限られている

- ・地域の行事も同じ顔ぶればかりが毎回参加している。
- ・祭りにあまり若者が来ない。
- ・地元の人間でないため行事などに参加したことがない。新参者は参加しにくいし…。

歴史と伝統が息づくまち

歴史や伝統を感じない

- ・行事、歴史、伝統は特に知らない。
- ・あまり歴史についての情報が公開されていないと思うから。
- ・前に住んでいた生野区の方が伝統を感じた。

高齢者が安心して暮らせるまち

坂が多く、交通マナーも悪いため、移動が大変そう

- ・坂が多くお年寄りには少し辛いこともありそう。
- ・車椅子など安心して散歩できたらよいと思う。
- ・バリアフリー努力不足のまち。
- ・自転車および自動車のマナーが悪い。

その他

- ・マンションに住む高齢者への対応が薄いように感じるから。
- ・住み続けたいが、家賃など高いので暮らしていけるか不安。
- ・繋がりががないので、高齢者が安心なのか知らないから。

子どもの教育環境が充実したまち

期待に比べて学校教育に課題を感じる

- ・名門といわれているが、小中学校の取り組みに期待できない。
- ・教育環境が充実していると思って引っ越してきたが、課題を感じることもある。

学校の周辺環境に課題

- ・小学校の先生方はよいが、学校の周辺の環境にも力を入れてほしい。小学校と中学校の間にタワーマンションが2棟も建設されるなんて信じられない。
- ・子どもの教育によくない建物、商売があり価値が下がる。

子どもの遊び場が少ない

- ・子どもが体を動かして遊べる場所がほとんどない。
- ・特にボール遊びや鬼ごっこなど体を動かす遊びをする場が無い。
- ・「自然から学ぶ」と考えると、自然が少ない。

子どもや若者が多く、活気のあるまち

子ども・若者の姿をあまりみかけない

- ・子どもの遊ぶ姿がみられない。
- ・子どもがたくさん住んでいても、塾通いばかりでほとんど遊んでいる姿を見かけない。
- ・子どもは多いと思うが、若者が多いとは感じない。

活気を感じない

- ・静かで落ち着いている反面、あまり活気は感じられない。
- ・活気があるという感じではない。
- ・日祝日は車も人通りも少ない。

品位・品格を感じない

- ・五条地域は昔から活気のあるまちではなかったけど、品位・品格の町だったけど、最近はそうではない。他地域から大勢来られて、何もかもルールが変わってしまった。

生活に便利なまち（買い物、医療など）

公共交通が不便

- ・バスの便が悪い。
- ・今住んでいる所は交通の便が悪く、永く暮らすのが心配。

飲食店などが多く、賑わいのあるまち

飲食店が少ない

- ・上本町六丁目や桃谷駅周辺はにぎやかだが、五条地域は静かな街並みという印象。
- ・不景気なため、閉店の店が最近多いため。
- ・飲食店が近所にない。
- ・飲食店が少ない気がする。友だちが来てもどこに食事へ行こうかいつも悩む。
- ・元々飲食店が少ない上、土日はほとんどの店が閉まっている。
- ・住宅地であるため飲食店が少ない（地価が高く、商売は不向きだと思う）。
- ・こじんまりとした温かな雰囲気のお店がもう少しあればいいなと思います。
- ・ファミリーで利用できる店（レストランなど）が少ない。

飲食店は少ないが、今のままでよい

- ・上六あたりと比較するとやはり少ないと思いますが、この落ち着いた町並が好きなのであまり飲食店は増えなくてよい（現状でよい）。
- ・少し食事に行こうと思っても適当なお店がない（それがいいと思っている）。
- ・飲食店などが少ない分、静かで環境がよいと思う。
- ・活気や賑わいが必ずよい意味ではない。静かで落ち着いているのがこのまちのよい点。
- ・住宅地、寺町、そして駅周辺の飲食店のかたまりでバランスがよいと思う。そんなに賑わいはない。

犯罪や交通事故が少ない安全なまち

街頭犯罪や空き巣がある

- ・ ひったくり被害にあったことがある。
- ・ 高齢者がひったくりにあっている。
- ・ 空き巣、車上荒らしなどの犯罪がある。
- ・ 自転車を盗られた。
- ・ 子どもを狙う不審者がいる。

交通事故が多い

- ・ 勝山通りでの交通事故が多い。
- ・ 道路の角にミラーがついてない箇所が多い。

交通マナーが悪い

- ・ スクールゾーンを車がスピードを出して走っている。
- ・ 上町筋、玉造筋、勝山通があり、抜け道として住宅街を走る車が多い。
- ・ 歩道を走る自転車の暴走（スピードの出しすぎ）が怖い。
- ・ 坂が多いため自転車のスピードが速い。
- ・ 自転車に乗っての携帯使用が多い。
- ・ 路上駐輪。
- ・ 駐輪場が少ない。もう少し増やして欲しい。

夜道や廃墟マンションが不安

- ・ 夜暗い所があるので怖い。
- ・ 人通りが少なく夜道など不安。
- ・ 近所に廃墟マンションが2棟あり、帰宅時に防犯に不安を感じる。

防災対策が行き届いているまち

避難場所に不安

- ・ 避難場所に不安があるため。
- ・ 避難所の備品がどの程度なのかわからない。
- ・ 五条小学校の避難へのキャパシティに疑問があるため。

防災訓練が十分でない

- ・ 防災訓練など行われていることがないため。

防災対策を知らない

- ・ 具体的によくわからない（アピール不足）。
- ・ 防災対策の内容がわからない。
- ・ 「行き届いている」とまではいえない。

まちなみが静かで、落ち着いた雰囲気のみち

交通量が多く静かではない

- ・車の往来が多いので静かでない。
- ・道路沿いなので静かではないため。

店舗や工事の音がうるさい

- ・近くのスナックが深夜 1 時ごろに客を送る時に大きな声で話すので困る。
- ・市営住宅の解体工事が、連日昼夜行われ、うんざりしている。

マナーがよいまち（美化、ペット、自転車など）

たばこやごみのポイ捨てが多い

- ・タバコのポイ捨てが多い。
- ・玄関の溝にしょっちゅうタバコの吸殻やごみが捨ててある。
- ・公園に平気でゴミを捨てる人が多い。
- ・自宅の前にタバコの吸殻、空き缶などが捨てられているのを見るたびに不快である。

ペットの飼い主のマナーが悪い

- ・小さな子どもが遊ぶ公園に犬のフンがよくあるので飼い主のマナーの低さを感じる。
- ・ペットのふんを他人の家のゴミ箱に捨てたり、他人の玄関先で平気で便をさせている。
- ・犬の糞の始末が悪い！
- ・ペットの鳴き声が気になる。特に早朝・夜間は配慮してほしい。

自転車のマナーが悪く危険、路上駐輪などで歩道を通りにくい

- ・戸建やマンションの前の歩道上に自転車・植木など不法占有が目につく。
- ・自転車の駐輪も停めたい放題で邪魔になる。マナーの悪い人が増えてきたと思う。
- ・自転車の止め方などいいとは言い切れない。
- ・桃谷駅の自転車が、寺田町駅前の自転車はきれいに整理されており、桃谷駅付近もきれいになったら嬉しい。
- ・自転車利用者の通行マナーが悪い。歩道を歩いていて、危険に思うことがよくある。
- ・自転車に乗る人のマナーが悪いと思います。事故にあっても仕方がないような乗り方をしているのがすごく気になります。

ごみ出しのルールが守られていない

- ・ごみ出しも杜撰だったりして、道路に散乱していることもしばしばです。
- ・マンションによっては周辺の美化を怠り、ごみが散乱している。

野良猫や鳩で困っている

- ・のら猫に餌を与える人がいて大変迷惑しております。
- ・公園で鳩にえさなどあげている人がいる。

公園や街路樹など緑が豊かなまち

緑が少ない

- ・街路樹が少なすぎる。
- ・街全体にもう少し緑があってもよいと思う。
- ・住宅地に桜の木や緑の木々がありましたが、自動車のガレージや自転車置き場になってしまった所がありました。
- ・JR桃谷駅から天王寺区役所の街路樹の枝を切りすぎて、夏の日陰になっていない。乳幼児を抱えて歩く人たちのことをもう少し考えて欲しい。
- ・もう少し緑やお花がたくさんあってもいいかと思います。ごみが減り、ポイ捨てタバコもやりづらくなるかと。
- ・市営・府営の建て替えによって緑が減ってきているように思われる。

公園が少ない

- ・自由な遊び場が少ない。
- ・街路樹ばかりが「緑」ではない。芝生のある公園、子どもが裸足で遊べる緑がない。
- ・マンションが増え子どもや人口が増えているのに公園が少ない。
- ・公園でゆっくりできるスペースがない。
- ・五条地区は小公園しか緑がなく、他と比べると少ないのではと感じる。
- ・身体を動かせる場所が少なく思います。例)公園は小さく小学生には物足りなく思います。

公園利用に課題

- ・公園はボランティアでいろいろな人たちが清掃活動はしているが、ごみ放置や植え込みが荒らされる。ボール遊びが原因だと思うが、外に場所がないから。市場の跡地を活用できないか。

住民による生涯学習や文化活動が活発なまち

どのような活動が行われているのかわからない

- ・活動が周知されていない。
- ・生涯学習や文化活動があるのを知りませんでした。
- ・活動内容等の掲示がされていないように思います。

参加したことがない

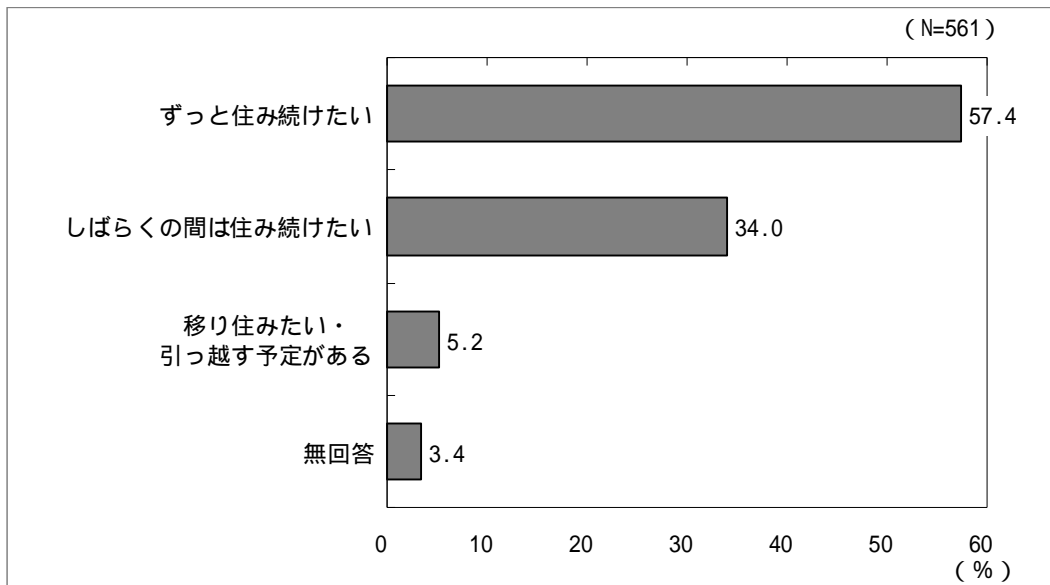
- ・参加した事がない。
- ・地域の一部の人だけの生涯学習と思われても仕方がないと思う。
- ・五条小の生涯ルームは他区、他校区の人が多。地元は??

もっと種類を増やしてほしい

- ・生涯学習はもっと種類を多く幅広く作ってほしいと思います。

(5) 今後の定住意向 (問 5)

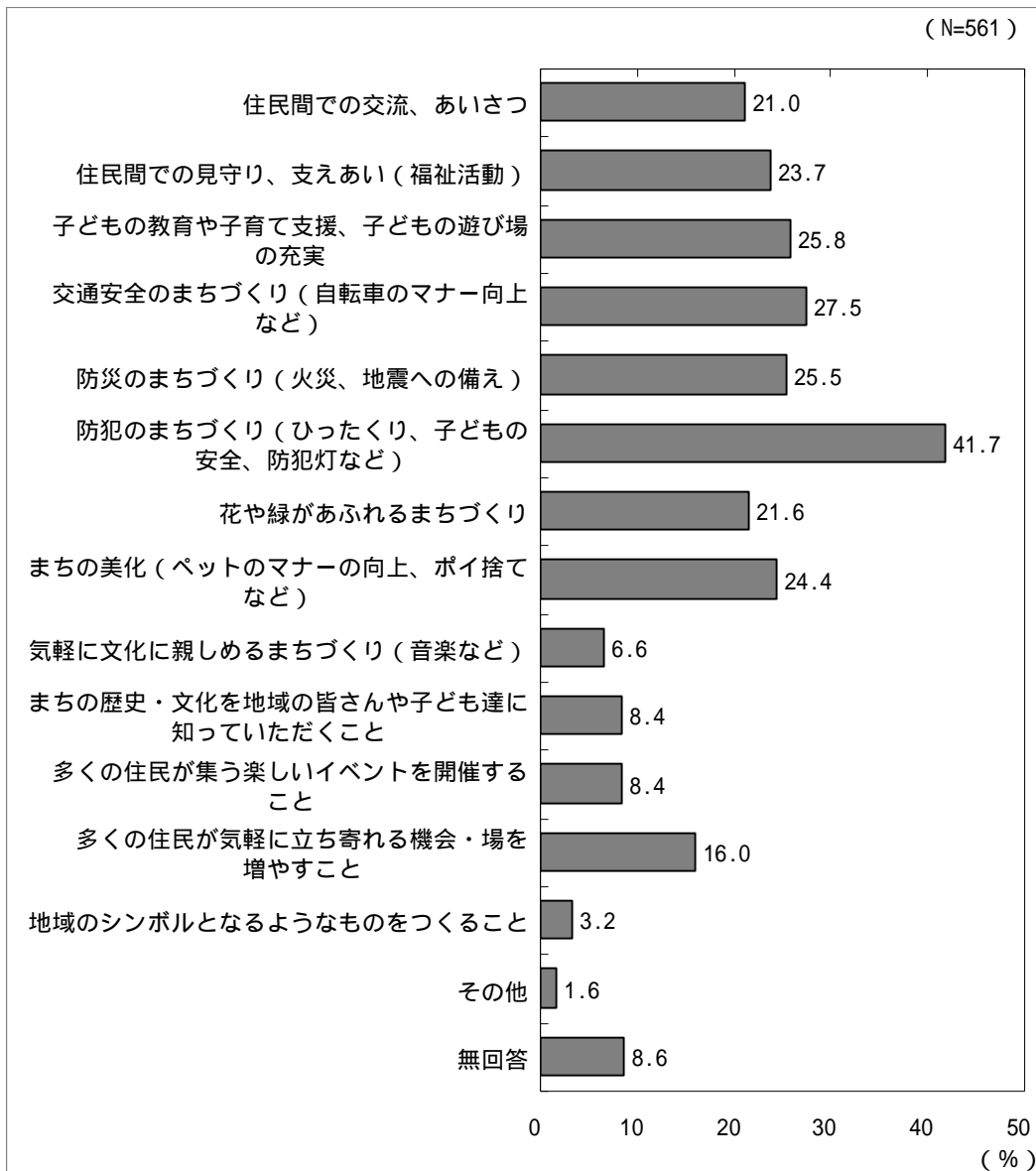
- ・「ずっと住み続けたい」が57.4%と最も多く、ついで、「しばらくの間は住み続けたい」が34.0%となっている。
- ・住宅形態別にみると、持ち家の定住意向は「一戸建て」と「マンション」で違いはみられない。また、近隣とお付き合いが活発な人ほど定住意向が高い。



		(上段:人, 下段:%)			
		住み続けたい	しばらくの間は	が・移り住みたい	無回答
全体	(N=561)	322 (57.4)	191 (34.0)	29 (5.2)	19 (3.4)
住宅形態	一戸建て(持ち家)	151 (62.9)	71 (29.6)	9 (3.8)	9 (3.8)
	一戸建て(賃貸)	4 (50.0)	4 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	マンション等(持ち家)	112 (61.5)	60 (33.0)	6 (3.3)	4 (2.2)
	マンション等(賃貸)	42 (38.5)	50 (45.9)	14 (12.8)	3 (2.8)
	その他	9 (81.8)	2 (18.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
近隣の方とお付き合い状況	家の行き来をするなど、親しく交流している	72 (70.6)	22 (21.6)	4 (3.9)	4 (3.9)
	地域の清掃など、決まりごとには参加している	43 (66.2)	19 (29.2)	0 (0.0)	3 (4.6)
	あいさつをする程度でほとんどつきあいがいい	193 (52.6)	142 (38.7)	21 (5.7)	11 (3.0)
	まったくつきあいがいい	9 (47.4)	6 (31.6)	3 (15.8)	1 (5.3)

(6) 今後力を入れて取り組むべきこと (問 6 ・ 3 つまで回答)

・「防犯のまちづくり(ひったくり、子どもの安全、防犯灯など)」が41.7%で最も多く、ついで「交通安全のまちづくり(自転車のマナー向上など)」が27.5%、「子どもの教育や子育て支援、子どもの遊び場の充実」が25.8%、「防災のまちづくり(火災、地震への備え)」が25.5%、「まちの美化(ペットのマナーの向上、ポイ捨てなど)」が24.4%となっている。



(7) まちの問題点・課題、活動の提案・アイデア (問 7 ・自由記述)

住民間での交流、あいさつ

住民間での交流を豊かに

- ・食事会など、交流の場があれば参加したい。
- ・花見などして、バーベキューができる広場があれば住民間で交流も増えるのでは。
- ・マンションが多く子育て世帯も多いと思うので、若い人が参加しやすいイベントがたくさんあれば、たてとよこのつながりができ、よりよいまちづくりの機会が得られる。
- ・夏、近所で昔からあるラジオ体操がなかったので残念だった。ラジオ体操があればもっと楽しく交流できるのになあと思う。神社や公園でして欲しい。
- ・若い親同士の交流の場が欲しいです。
- ・他府県から引越してくるとなかなか輪の中に入れないので、気軽に参加できる集会、飲み会、イベントなどがあるといい。
- ・住民間の交流を増やすため、例えば公園の植栽の世話などを住民にやってもらったり、地域内のイベントを増やしてはどうか。

地域活動についての情報提供を

- ・小学校、中学校等の地域内の学校に所属している子どもがいれば、地域の活動を間接的に知っていたが、卒業してしまえば、何をしているかは知ること少ない。回覧板等も廻ってはいるが、見ることも少ないので、具体的なことは知らない。
- ・マンション管理費から町会費を払っているが、何処の町会に属していて、町会長がどなたなのか全く知らない。どこに聞いてもわからない。

様々な地域活動の連携を

- ・子育てサークルと高齢者を分けるのではなく、月 1 回でも交流できるようにしては。
- ・元気な高齢者の方々の知識等を活かして、共に子ども達と一緒に過ごして活動していける場所があればと思います。
- ・各グループの取り組みは個々に頑張っていると思うので、横の連携をすべき。

地域活動により多くの人の参加を

- ・昔から住んでいる人は町会へも参加されているが、マンション住民や賃貸住宅の人は参加されていないことが多く、近所でも誰が住んでいるかわからないことがある。賃貸でも入居時に町会に入って頂くようお願いした方がよい。
- ・一部の同じ方々で進行している。もっと幅広く活動してくれる人を募集すれば？
- ・地域の町会役員やボランティア等に住民へアプローチしたい。
- ・地域活動の役員の顔が見えない。どのように活動されているのか？どれだけみな役に立ち、まちの役に立っているか(老人、子どもの安全を)？もっと見せて欲しい。
- ・高齢者の一人暮らしの世帯が多く、自治会の班長もお任せできない方が多く、町内会の班長の当番がすぐに廻ってくるので他の班と合併していただきたい。

住民間での見守り、支えあい

高齢者の見守り活動の充実を

- ・独居老人を調べ安否を確認する。
- ・高齢者食事サービスが1階のイスで食べられたら、利用しやすいのでは。

子どもたちを守りたい

- ・子どもの虐待には全力で対処すべきだ。大切な子どもを守って欲しい！
- ・子ども見守り活動のより充実をはかってもらえればと思う。通学路及び公園等範囲も時間も広げてもらえればと思う。
- ・あき缶の回収をしている人が不審な感じで、登校時間と重なりこわいです。朝は人が少なく、その人と子どもしかいない時も多く、見ていてかなり危険です。
- ・勝山3交差点南東周辺の風紀が乱れています(女性を送迎する車が並ぶ)。子ども達が習い事などから帰る頃(すこし暗くなってから)にも見る光景なので気がかりです。

子どもの教育や子育て支援、子どもの遊び場の充実

子どもの遊び場や運動空間の確保

- ・幼い子と小学生の子と一緒に遊ぶのはちょっと危ない気がするので五条公園のグラウンドを小学生の子達が走り回れるように開放した方がよいと思います。公園が小さすぎるのでこれでは子どもの体力がどんどん低下していく原因です。
- ・五条公園前の旧市場跡など長い間空き地になっていますが、子どもたちの遊び場として提供してはいかがですか。
- ・子ども連れで集うことができるスペースをつくり開放すべき(土・日も)。
- ・子どもが室内で遊べるスペースをつくって欲しい。味原までは遠くて行けない。そこで同世代の人と交流したい。
- ・児童館のような、雨の日でも子どもが安心して遊べる場所が欲しい。
- ・小学校以外で子どもたちが放課後に交流・活動できる集まりの組織が欲しい。
- ・一番の問題は、人数の割に小学校・中学校が狭すぎるので、部活の時や体育祭が大変ということです。特に夕陽丘中学校の周りをランニング中、人や自転車にぶつかりケガをします。

子育て支援の取り組みを

- ・子育て支援のサークルが少し遠いので、もう少し近くにつくって欲しい(今参加しているのは月1回のみのため)。
- ・子育てイベントをもっと増やして欲しいです。
- ・共働きということもあり、子育てに不安を感じる。地域で子育て支援をもっと考えてはどうか?特に教育にも人気のある地域だと感じるので。
- ・五条地区は何か一つの特長を出して行って下さい。未就学児の知育・運動教育がよいと思います。子ども(2~6歳ぐらい)のためになることをして欲しい。遊びばかりでなく、学習を。例えば五条公園で毎週子ども英語遊びをすとか、ひらがな、足し算を教えるとか。何か楽器(ピアノとか)をすとか。

交通安全のまちづくり

自転車の交通マナーの向上を

- ・朝の通勤の時（8時ごろ）は、どうしても夕陽ヶ丘ロード（夕陽ヶ丘高校から五条小学校）の間は、人が多くて接触しそうになるため交通マナーの強化をしてもらいたい。
- ・小中学校で自転車のマナー教室をしてはどうか。
- ・信号でも子どもが止まっているのに、大人が平気で渡るなど、子育て世代以外の層に多く見られる気がします。
- ・無灯火で走る自転車が大変多く、夜怖い思いをしたことが何度かあります。

駐輪場の確保を

- ・駅前の自転車置場の充実。（自転車マナー向上につながると思います。）この前、桃谷駅前の駐輪場に申し込みに行ったら「半年から1年待ちです」と言われました。路上駐輪もダメなのに、一体どこにとめればいいのか。もっと駐輪場を増やしてほしい。
- ・放置自転車の撤去（特に駅前）。

歩道や自転車専用レーンの確保を

- ・勝山通り四天王寺が東周りに急な坂になっている為、自転車が猛スピードで降りて来るので危なくて仕方ない。特に夜間は危険です。歩道を歩行者と車道と区別しては。
- ・区役所前の道が狭く、歩道を自転車が通ったりと危ない。歩道幅の改善をしてほしい。
- ・車道に自転車通行帯を整備。
- ・小学校周辺、登下校時は歩道がいっぱいになるので自転車で通るのが怖い。車道も狭いので走れない。道をもう少し広くできたらいいなと思います。

カーブミラーの設置や交通標識をわかりやすく

- ・見通しの悪い道路や曲がり角が多いのが気になります。
- ・勝山1丁目に住んでいますが大きなお宅やマンションが多く、少しの曲がり角であってもミラーを設置して欲しい。この辺りは赤ちゃん連れ、ベビーカー、小中学生がとでも多く、何度も車や自転車とぶつかり得るシーンを見た。
- ・車の一方通行の標識が、近所に住んでいない人にはわかりづらい気がする。

路上駐車取締りを

- ・五条小公園近くの路駐の車や自転車が通行する車の邪魔になり、それにより人が通行中危ない時もある。又、公園近くの十字路は車や自転車がスピードを出して危ないので対策して欲しいです。
- ・駐車禁止の所に停めている車が減らない。放置自転車同様、厳しく取り締まりを。
- ・病院に来る人の自家用車の駐車の問題。
- ・路上駐車が多く危険なので、厳しく取り締まってください。

歩道上に物を置かない

- ・道路上（車道・歩道）に看板の撤去、道路上を占有した植木・花壇の撤去。

防災のまちづくり

防災訓練の充実を

- ・大掛かりな火災や地震時の避難訓練をして欲しい。
- ・防災計画が必要ではないか。
- ・地震への不安があるので、避難訓練の実施や、訓練に参加できない人のためには何かこのように手紙などで伝達する方法などよいのではないのでしょうか。
- ・子どもが学校にいる間に地震などがあれば、近くの病院に診てもらえるとは思っているのですが、学校 病院と前もって連携して訓練(合同)していただくと安心である。

避難場所の確保を

- ・住宅(平屋、2~3階建)の住民の災害の時に避難する場所として、近隣の高層マンションなどに避難できたらよいと思います。

災害に強いまちづくりを

- ・ビルが多く建設されているので、災害時の防災が心配。広場、公園を充実して欲しい。
- ・細い道が多いので、救急車などが入りにくい所が多そうなので、道路の改善を。

防犯のまちづくり

夜道を明るく

- ・ウォーキングをしています。勝山通り北側の歩道の五条神社から東にかけて街灯があっても暗く足もとが不安で歩きづらく感じる。もう少し明るくならないものか。
- ・夕方から夜は静かで暗い場所が多いので、街灯を増やして欲しい。交通面でも危険。

夜回り、安全パトロールの充実を

- ・夜の見回りなど増やして欲しい。
- ・最近ひったくりが多いと聞いていますので、見守り隊を増やすとか...
- ・最近変質者が多く出没しているようなので、実際娘も被害に合っているの(大事には至らず逃げましたが)、見回りや目撃情報などを増やして頂きたいです。

五条グラウンドの管理を

- ・五条グラウンドの出入りを深夜などは立ち入りできないように、きちんと管理して欲しい。また警察によるパトロールも強化して欲しい。
- ・五条公園で青年たちが夜中でも奇声を出して騒ぐのは解決できないのか。

防犯カメラの設置を

- ・防犯対策のためにも防犯カメラの設置。例えば電信柱や公園に防犯カメラをつけることによって犯罪防止につながると思います。

犯罪の発生情報を知りたい

- ・空き巣やひったくりなど、事件があったらすぐその情報を知りたい。

花や緑があふれるまちづくり

緑をふやしたい

- ・やはり緑が少な過ぎると思う。街路樹を増やして木陰のできるまちにして欲しい。
- ・公園（緑地）が少ない。公園を増やせば緑も増え、大人と子どもたちの憩いの場も増え、まちがより活気づくと思う。
- ・五条グラウンドを天然の芝生にしてはどうかと思う。今は子どもたちがサッカーなど運動をしていて砂埃が舞い上がり、それを被っている子どもらの将来の健康が心配である。芝生にすれば緊急時の避難場所やヘリポートとして利用できる。
- ・高層住宅が増えすぎて、ゆとりのないまちになりつつあると感じています。公園・街路樹、街中の緑がもっと豊かになればよいと思います。高齢者始め全ての住民が安心して楽しく暮らせるまちであるとよいと思います。
- ・公園をもっと増やして林を作るべき、神社（五条宮）も森を復活させて。

緑化活動を

- ・心が安らぐような緑化活動、緑地化に力を入れてほしいと思います。
- ・子ども、若者の比率が高いので、その手を借りて花・緑を植える。
- ・五条地域のご年配の方は、学校の行事でもお花の植え替え等にも、参加していらっしゃいます。参加されているから、流れも良くご存知で、だから行事がいつもスムーズに行われるのだと思います。

まちの美化

まちの美化を

- ・勝山通りについて、勝山4～五条宮間の中央分離帯の雑草と空きビン、空き缶・ごみの撤去で近辺はよくなると思う。バス停横のごみ置きは大変見苦しい！
- ・たばこのポイ捨てやめましょう運動。
- ・年に何度かまちの美化活動としてごみ集めや溝掃除などをする。
- ・公園をきれいにしてほしい。
- ・ボランティアでの掃除活動。

病院の喫煙マナーの向上を

- ・病院内の禁煙のためか、敷地外での喫煙が目立つ。五条地域外の方々とは思いますが、外部の方が集まる場所だからこそ、喫煙環境を整えてほしいと願います。
- ・学校や公園の近辺での喫煙はやめよう、病院にも協力を求めています。そもそも学校や公園に近い立地からして、病院の敷地外で喫煙させることに無理がある。

ごみの分別ルールの徹底を

- ・ゴミの分別もう少しきちんとすべき。生ゴミもプラもいっしょに捨てている人が多い。

野良猫対策を

- ・のら猫に餌を与えないようにきつく指導してほしいと思う。

気軽に文化に親しめるまちづくり

- ・各自でやるべき、地域はかかわらない。

まちの歴史・文化を地域の皆さんや子ども達に知っていただくこと

住民に歴史を知ってもらう

- ・住民にこの地区の歴史を知ってもらう。古代では、細工谷遺跡や上本町遺跡、難波京朱雀大路...中世では四天王寺界隈の様々なまちと行宮、近代ではたとえば、一昔前は上本町がもっと都会で、上本町9丁目にNHKがあった等々。
- ・地域のことをよく知ることが大切だと思う。例えば、小学校の時「天王寺蕪」について多く学んだのですが、それを地域全体で支え、文化の継承と地域の交流を組み合わせるような活動がよいのではないかと思う。

特色ある五条地域の雰囲気がかわってきている

- ・最近高層マンション建設が多く街並みが急激に変化して、特色ある五条地域の雰囲気が失われつつある。

多くの住民が集う楽しいイベントを開催すること

気軽に楽しめるイベントの開催と開催の告知を

- ・老若男女園児等が一堂に集い、大きな声で童謡を合唱する春・夏・秋・冬等の季節を唄うのもよいのではないかと思います（むつかしい楽譜等はなし）。
- ・門真のある地域で、地域ぐるみで運動会等をしているらしく、住民同士や子ども達の顔見知りが多く非行が少ないと聞きました。
- ・季節行事（大阪の伝統行事）、お餅つき大会、七夕まつりなど、教科書にだけみるようになった面倒臭いけれど心豊かになるような行事に参加できること。
- ・住民が誰でも気軽に参加できる音楽イベントや、天王寺スポーツセンターでのスポーツイベントなど、講師をできる方が中心でワークショップをするなど。
- ・バザー、フリーマーケットをしたいと思われたら協力して開催したい。不用品がたまってしまったら、困らずに話し合っ決めてたい。
- ・高齢者の身の回りにおこる、様々な問題点に対する対処法や、子育て世代が抱える悩みなどへの対処や情報など、専門家を招いたセミナーを地域単位で行う。
- ・告知などはメールを活用して、絵や掲示板のポスターを少なくしては？ツイッター等を利用するのもありかもしれません。

若い人が参加するイベントを

- ・若い人が少ないように思われます。若い人が集まるイベント等、開催してはどうか。
- ・住民が高齢化していく中で、行事その他のことをもう少し若い年代の人達に受け継いでいってもらうことが必要だと思う。
- ・お年寄りの方が頑張っているイベントをしているのでそれを継続しつつ、中高年（20～40代）や学生たちのイベントをして交流を増やしていくことは必要と思います。

多くの住民が気軽に立ち寄れる機会・場を増やすこと

生涯学習や運動の機会を

- ・生涯学習で太極拳やヨガなどの体を動かす運動や、英会話などの頭の体操になる教室を開いて欲しい。クレオ大阪は使用できないのでしょうか。新しい建物できれいな所ですから、利用したらよいと思います。
- ・校庭を地域の住民が使用できるようにして大人～子どもまでスポーツによる活性化を。
- ・スポーツができる教室とかがあれば参加したい。区役所の部屋とかでは無理ですか？五条地域は区役所が近いですよネ。40～50代って何か活動ありますか？
- ・生涯学習ルームの日程で土日や、参加人数を増やす。
- ・簡単な運動（ヨガ、体操など）ができる場や機会があれば嬉しいです。

五条公園会館の改善を

- ・五条公園会館をもう少し使いやすくしたらよいのでは。
- ・五条会館でいろんな行事を行っていますが会館が狭く、前の道路には車、救急車が通るので、場所を移すか、よい方向に考えて欲しいです。
- ・多くの人が集まれる場所が地域に欲しい。今の会館では狭くてどうにもなりません。地域の会館を広く建て直してほしい。それがまず第一です。
- ・公園・会館をもっとお年寄りの活動場にして欲しい。

気軽に立ち寄れる場を

- ・多くの住民が気軽に立ち寄れる場（例えばふれあい喫茶のような所）をもっと多く。
- ・以前住んでいた所は小学校の横に公園があり、交流の場となっていました。早朝にはゲートボールのお年寄りや散歩の人、昼間は乳幼児と若いお母さん、夕方は学校を終えた子どもたちが集まり、常に賑やかでした。日時を指定された時だけのイベントとは違い、日常生活にこのような場があることが望ましいと思います。
- ・高層マンションは人を吸い上げてしまう。五条グランド横の空き地に平屋でオープンな老人憩いの家兼児童館兼乳幼児ふれあい広場兼ペットも寄れるような空間作りを！
- ・老人たちのふれあいの場が少ないと思う。公園など気軽に行ける場所、老人に向けた公園造りをして頂きたいと思います。

地域活動により多くの人の参加を

- ・町会の食事会に参加しましたが、年配者が多く次の世代が参加していないのが気にかかる若い世代を如何にして町会の活動に参加させるかを考えなければいけない。
- ・昔住んでいた所では、シルバーの方々の技術を持っておられる（大工修理剪定）お力を（少額ですがお払いして）借りました。
- ・特にこの地域は、お医者さんや歯医者さんが山ほど住んでいるため、ボランティアを募って、検診や健康相談の場を設けてみてはどうか。
- ・どんな団体もメンバーと一緒に外部からは入りにくいと思う。風通しをもっとよくなるべき。

地域のシンボルとなるようなものをつくること

- ・官公庁前、学校前、病院前、寺院などに統一花壇を造り、天王寺シンボルにしてはどうか。潤いのある区民の心を育ててはいかが。

その他

五条地域の情報発信を

- ・五条ブランドの向上&発信。例えば、メインストリートに活気を戻す為に洒落たお店を誘致するなど。
- ・地域の施設、お店の紹介をするパンフレット、ホームページを作成する。
- ・医療に関する情報がもっとあれば嬉しいです。
- ・回覧板が回ってこないの、インターネットでいろいろな情報を公開して欲しい。

商店の活性化を

- ・飲食店が少ないように思う。もっとおしゃれなお店が出来れば良いと思う。
- ・商店のシャッターが軒並み閉まっている。若い世代に利用してもらうようなアイデアはないのだろうか。飲食店だけではなく、文化的な活動の発信地など。高齢者だけでなく、次世代の人たちを育てるべきだ。

土地利用の見直しを

- ・高層マンションの制限。
- ・これ以上のマンションの建設より、公園を増やしてほしい。
- ・高層マンションが増えすぎだと思えます。夕陽ヶ丘は夕陽が美しく見えるから夕陽ヶ丘なのに、四天王寺さん付近に建ちすぎた。

取締りを

- ・最近、勝山通りに面したビルで、夜通し電気を煌々とつけ、前の道路に車が列をなして駐禁しています。警察の見まわりなどしてほしいです。
- ・勝山3北のビルに24時間不審な車が入り出て若い女性が車で送られていきます。何か調べて頂く手段を早急に考えて頂けますでしょうか。
- ・勝山北3交差点南東角に風俗業の事務所が出来、女性待ちの車が住宅地の道路（他人の玄関先や駐車場前）に停めるため大変迷惑している。取り締まりを強化し、こうしたことがどンドン地域内に広がることを防いで欲しい。
- ・夏場のグラウンドでのロケット花火は厳しく取り締まって欲しい。

公設市場跡地の有効活用を

- ・公設市場跡が数年間遊休地になっているがあまりにも勿体ない。例えば、病院やグラウンドの利用者用の駐車場に暫定利用できないか。
- ・空き地（元公設市場）にスーパーなど商業施設が出来たら便利だと思います。
- ・公設市場のあった場所が10年以上も空き地ですが何か利用方法はないのでしょうか？

(8) 五条地域について誇りに思うこと (問 8 ・ 自由記述)

教育環境、子育て環境が充実している

- ・ 学校などの教育機関が充実しており、子育てがしやすいと思います。
- ・ 五条小学校の評判がいいこと。
- ・ 子どもを持つ保護者のみなさんが教育に熱心であること。
- ・ 五条小学校や夕陽丘中学校がよい子が多いと思う。
- ・ 新築物件の広告でも五条小学校に近いというアピールをしているぐらい教育熱心な父兄が多いということは、分厚い中間層が多いということになり、誇りに思う。
- ・ 子どもの教育が熱心だと思います。
- ・ 教育に関心が高い人が多い。
- ・ サークルなど、子育てする上でとてもありがたい場所を提供してもらってます。
- ・ 子育てサークルの充実はよいと思います。

行事・イベント

- ・ 夏祭りや地蔵盆などの伝統行事を受け継いで行っている事。
- ・ お食事会、見守り隊、地蔵盆など、私の昔住んでた所にはあまり力を入れてなかったのので、五条に来て素晴らしいと思った。
- ・ 地域の行事が多く、子どもからお年寄りまで顔を合わせる機会が多いと思います。地域を愛する気持ちを皆が持っているように感じます。
- ・ 五條宮のお祭りなど、地域の方々のご協力で盛大に続いているのは素晴らしい。
- ・ 四天王寺があること (朝市や行事) 。
- ・ ふれあい食事会・ふれあい喫茶。
- ・ 高齢者の方々 (一部) が食事サービス、喫茶、老人会などの行事に参加し、笑顔でふれ合う、語り合う場があり嬉しい！
- ・ 未だに町内会で年末のお餅つきが行われるのは、とてもよいことだと思うが、府営住宅の取り壊しによって、餅つきもできなくなるのは残念。
- ・ 地域に根ざした子ども中心の夏祭り、盆踊りなど。みんなで子どもを育てていこうとすることです。

歴史がある

- ・ 歴史や伝統があり、雰囲気もよい。
- ・ 寺院などの歴史的な建物が多い。
- ・ 歴史と伝統がある地域に住むことができ光栄です。
- ・ 四天王寺が近くにある。
- ・ 五條宮のご神木、五條宮夏祭りのお神輿が好きです。

医療機関の充実

- ・ 病院が多く安心できること。

住民の活動・雰囲気

住民が礼儀正しい

- ・住民の方々が規律を守られて生活をしている。
- ・お住まいの人々の礼儀正しいところ。
- ・素直できちんとしたマナーを持った子どもが育つまちだと思っている。
- ・隣近所で挨拶をしたり交流がある。
- ・マンションの住民間でも挨拶や、ちょっとしたお裾分けなど交流があるところ。
- ・住民のマナーがよい。

高齢者が子ども達を見守ってくれている

- ・学校から帰る時、お年のいった方たちが見守って頂いており感謝している。
- ・朝出勤時、小学校の前を通ります。襷を掛けた年配の方や保護者の方がたくさん参加され、子どもたちを見守っている姿がとてもステキに思えました。
- ・小学生児童の下校を見守ってくださる「見守り隊」の方々です。
- ・子どもの安全見守りをしてくださっているの方々には、本当に感謝しております。
- ・見守り隊の方（黄色ユニフォームの方）は道ですれ違っても挨拶を交わして下さるので、気持ちが良いと思います。

みんなでまちを美しくしている

- ・町会の毎月1回の清掃活動による美化運動。
- ・お年寄りの方々の毎朝のごみ拾い。
- ・区役所前の花植えを集まりでしていただいたり、他の地域と比べるとおだやかな雰囲気を感じる。
- ・五条グラウンド等の公園をボランティアで清掃している市民の方がいる。

地域活動が熱心である

- ・いろいろな地域活動をなされていることに嬉しく思います。
- ・地域活動に熱心な人が多く、協力体制が整っている、素晴らしい地域だと思う。

住環境全般

住環境がよい

- ・とても静かで落ち着いた街並み。
- ・他区域より高級感がある。
- ・いい所にお住まいですねと他地域の方は言ってくれます。
- ・昔から、天王寺区の中で五条地区は学校や住環境が1番だと言われてきました。実際、住んでみると本当にその通りだと思います。
- ・生活環境が充実していてなおかつ静かな住環境であること。
- ・大阪の街中にありながら静かで落ち着いているまち。
- ・大阪市の中心近くに位置していながら、町が清潔なこと、風紀がよいこと。
- ・生活の場として落ち着きがあり、安心して子どもを育てられる地域だと思います。

治安がよい

- ・犯罪の少ない地域と聞いているので安心できる。
- ・街路灯が多い。
- ・治安がよいので、帰宅が遅くなっても安心感がある。

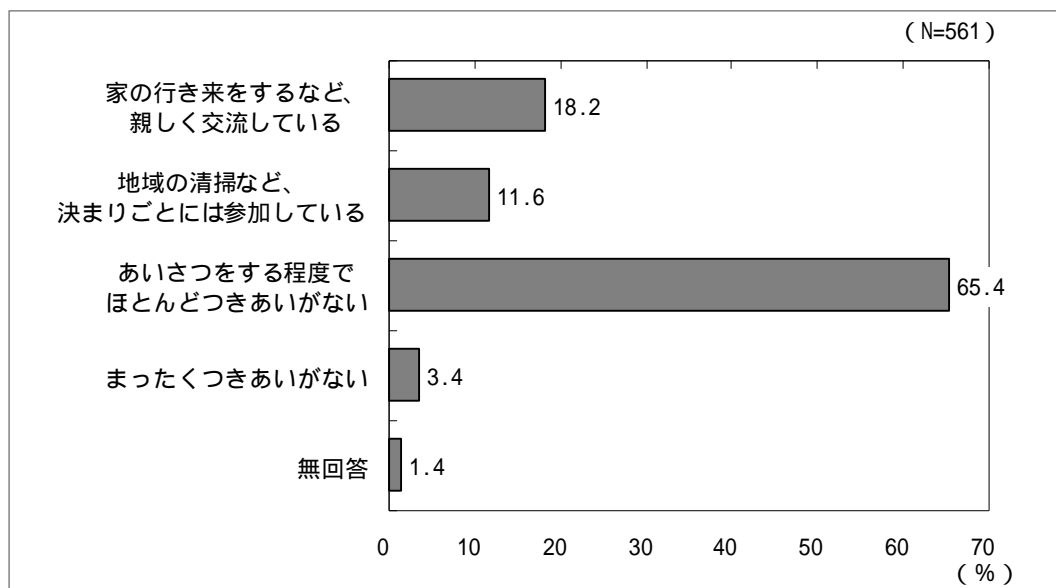
まちがきれい

- ・ごみが少ない。地域の方のお陰だと思います。
- ・静かで清潔。ゴミがあまり落ちていない。
- ・家の玄関などに花を植えたり、きれいにしている家が多い。
- ・美しい夕日が沈む町。

2. 近隣でのおつきあいや地域活動への参加状況について

(1) 近隣とおつきあいの状況 (問9)

- ・「あいさつをする程度でほとんどつきあいが無い」が65.4%で最も多く、ついで「家の行き来をするなど、親しく交流している」が18.2%、「地域の清掃など、決まりごとには参加している」が11.6%、「まったくつきあいが無い」が3.4%となっている。
- ・住宅形態別にみると、「一戸建て」は「マンション」よりも、つきあいが活発である。町会への加入状況別にみると、「加入している」でも「あいさつをする程度でほとんどつきあいが無い」が約6割となっている。

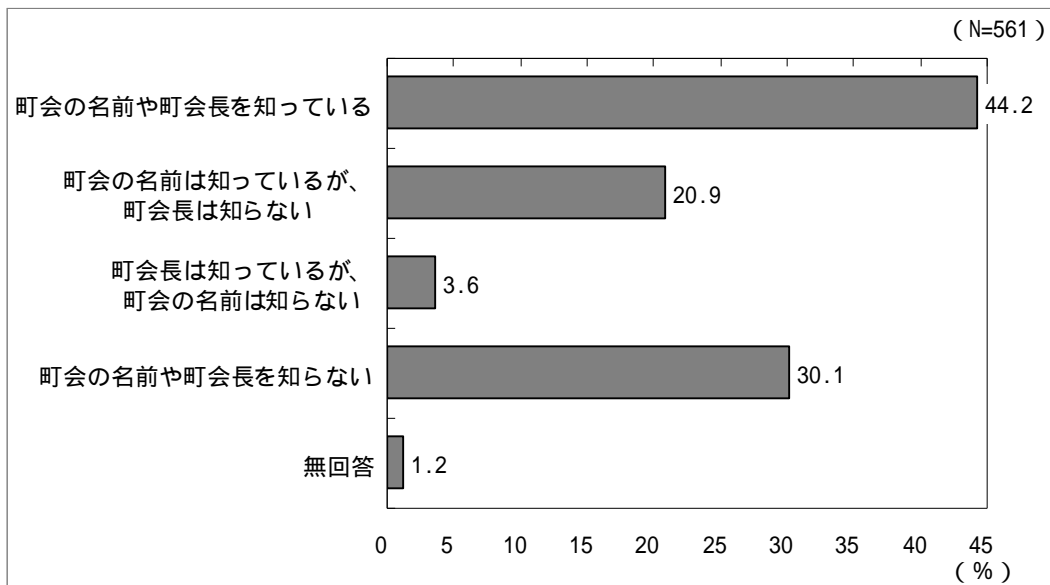


(上段:人, 下段:%)

		いど家 る、の 親行 しき く来 交を 流す する てな	てま地 いり域 るこの と清 に掃 はな 参加、 し決	がであ なほい いとさ んつ どを つす きる あ程 い度	なま いた たく つき あ いが	無 回 答
全体	(N=561)	102 (18.2)	65 (11.6)	367 (65.4)	19 (3.4)	8 (1.4)
住宅 形態	一戸建て(持ち家)	56 (23.3)	41 (17.1)	136 (56.7)	2 (0.8)	5 (2.1)
	一戸建て(賃貸)	5 (62.5)	0 (0.0)	3 (37.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
	マンション等(持ち家)	28 (15.4)	14 (7.7)	134 (73.6)	6 (3.3)	0 (0.0)
	マンション等(賃貸)	8 (7.3)	6 (5.5)	83 (76.1)	10 (9.2)	2 (1.8)
	その他	3 (27.3)	3 (27.3)	5 (45.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
町会への 加入	加入している	89 (21.3)	63 (15.1)	252 (60.4)	9 (2.2)	4 (1.0)
	加入していない	5 (7.2)	1 (1.4)	57 (82.6)	6 (8.7)	0 (0.0)
	わからない	8 (11.3)	1 (1.4)	58 (81.7)	4 (5.6)	0 (0.0)

(2) 居住地域の町会名や町会長の認知度 (問10)

- ・「町会の名前や町会長を知っている」が44.2%で最も多く、ついで「町会の名前や町会長を知らない」が30.1%、「町会の名前は知っているが、町会長は知らない」が20.9%、「町会長は知っているが、町会の名前は知らない」が3.6%となっている。
- ・住宅形態別にみると、「一戸建て」は「マンション」よりも認知度が高い。町会への加入状況別にみると、「加入している」でも「町会の名前や町会長を知っている」のは約6割にとどまる。

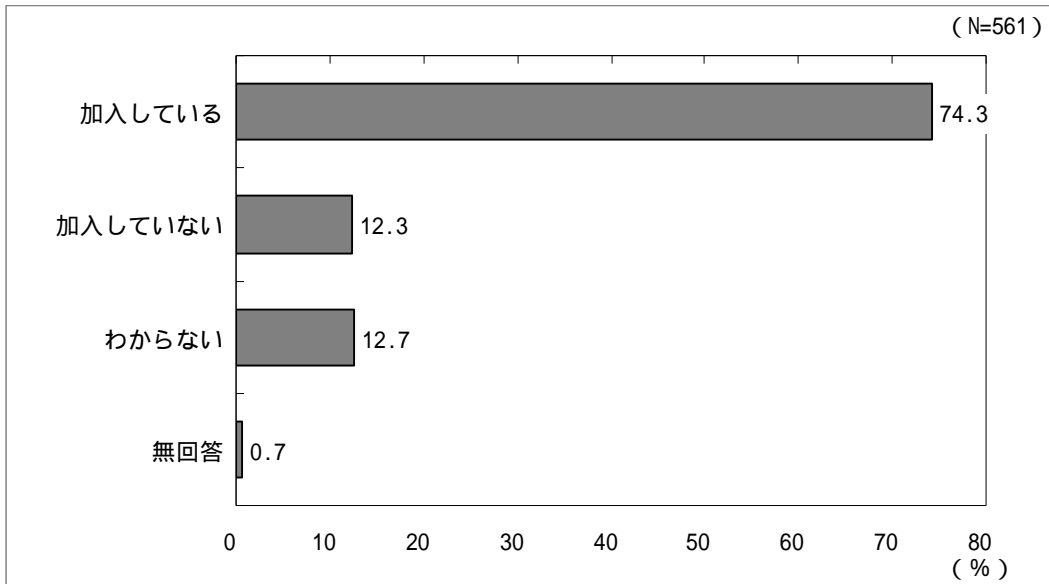


(上段: 人, 下段: %)

		を町知会 つの名 い前 るや 町 会 長	らい町 なる会 いがの 町前 会 は 長 知 は 知 て	らが町 な、会 い町長 はの知 名つ 前て は 知 る	を町知 会ら の な 前 や 町 会 長	無 回 答
全体	(N=561)	248 (44.2)	117 (20.9)	20 (3.6)	169 (30.1)	7 (1.2)
住宅 形態	一戸建て(持ち家)	170 (70.8)	32 (13.3)	13 (5.4)	23 (9.6)	2 (0.8)
	一戸建て(賃貸)	6 (75.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	マンション等(持ち家)	38 (20.9)	63 (34.6)	4 (2.2)	77 (42.3)	0 (0.0)
	マンション等(賃貸)	23 (21.1)	19 (17.4)	3 (2.8)	61 (56.0)	3 (2.8)
	その他	6 (54.5)	1 (9.1)	0 (0.0)	3 (27.3)	1 (9.1)
町会への 加入	加入している	242 (58.0)	93 (22.3)	16 (3.8)	63 (15.1)	3 (0.7)
	加入していない	5 (7.2)	7 (10.1)	2 (2.9)	55 (79.7)	0 (0.0)
	わからない	1 (1.4)	17 (23.9)	2 (2.8)	51 (71.8)	0 (0.0)

(3) 町会への加入状況(問11)

- ・「加入している」が74.3%で最も多く、ついで「わからない」が12.7%、「加入していない」が12.3%となっている。
- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「加入している」の割合が高まる。住宅形態別にみると、「一戸建て(持ち家)」が93.8%と最も高く、「マンション等(持ち家)」が69.8%、「マンション等(賃貸)」が38.5%となっている。

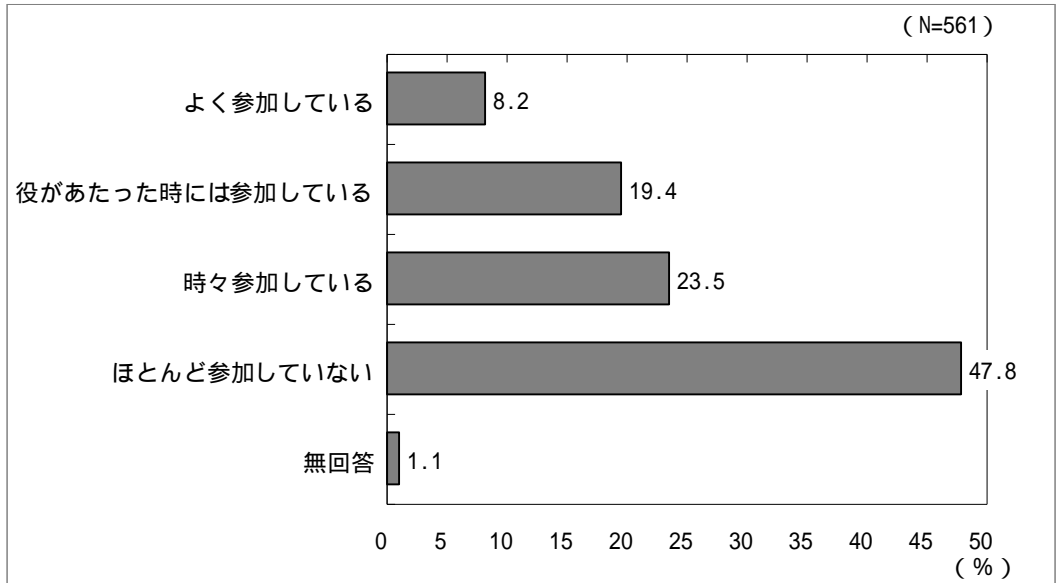


(上段:人,下段:%)

		し加 て入 いる	い加 ない して	わ か ら な い	無 回 答
全体	(N=561)	417 (74.3)	69 (12.3)	71 (12.7)	4 (0.7)
年齢	20歳代	(N=53) 22 (41.5)	15 (28.3)	16 (30.2)	0 (0.0)
	30歳代	(N=75) 50 (66.7)	15 (20.0)	9 (12.0)	1 (1.3)
	40歳代	(N=126) 92 (73.0)	13 (10.3)	21 (16.7)	0 (0.0)
	50歳代	(N=105) 80 (76.2)	12 (11.4)	12 (11.4)	1 (1.0)
	60歳代	(N=101) 83 (82.2)	8 (7.9)	9 (8.9)	1 (1.0)
	70歳以上	(N=85) 78 (91.8)	4 (4.7)	3 (3.5)	0 (0.0)
住宅 形態	一戸建て(持ち家)	(N=240) 225 (93.8)	4 (1.7)	9 (3.8)	2 (0.8)
	一戸建て(賃貸)	(N=8) 8 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	マンション等(持ち家)	(N=182) 127 (69.8)	22 (12.1)	33 (18.1)	0 (0.0)
	マンション等(賃貸)	(N=109) 42 (38.5)	40 (36.7)	26 (23.9)	1 (0.9)
	その他	(N=11) 9 (81.8)	1 (9.1)	1 (9.1)	0 (0.0)

(4) 地域の行事・活動への参加状況 (問12)

- ・「ほとんど参加していない」が47.8%と最も多く、ついで「時々参加している」が23.5%、「役があたった時には参加している」が19.4%となっている。
- ・年齢別にみると若い世代の方が、住宅形態別にみると、マンションの方が「ほとんど参加していない」の割合が高い。「一戸建(持ち家)」でも、「ほとんど参加していない」の割合が30.0%となっている。

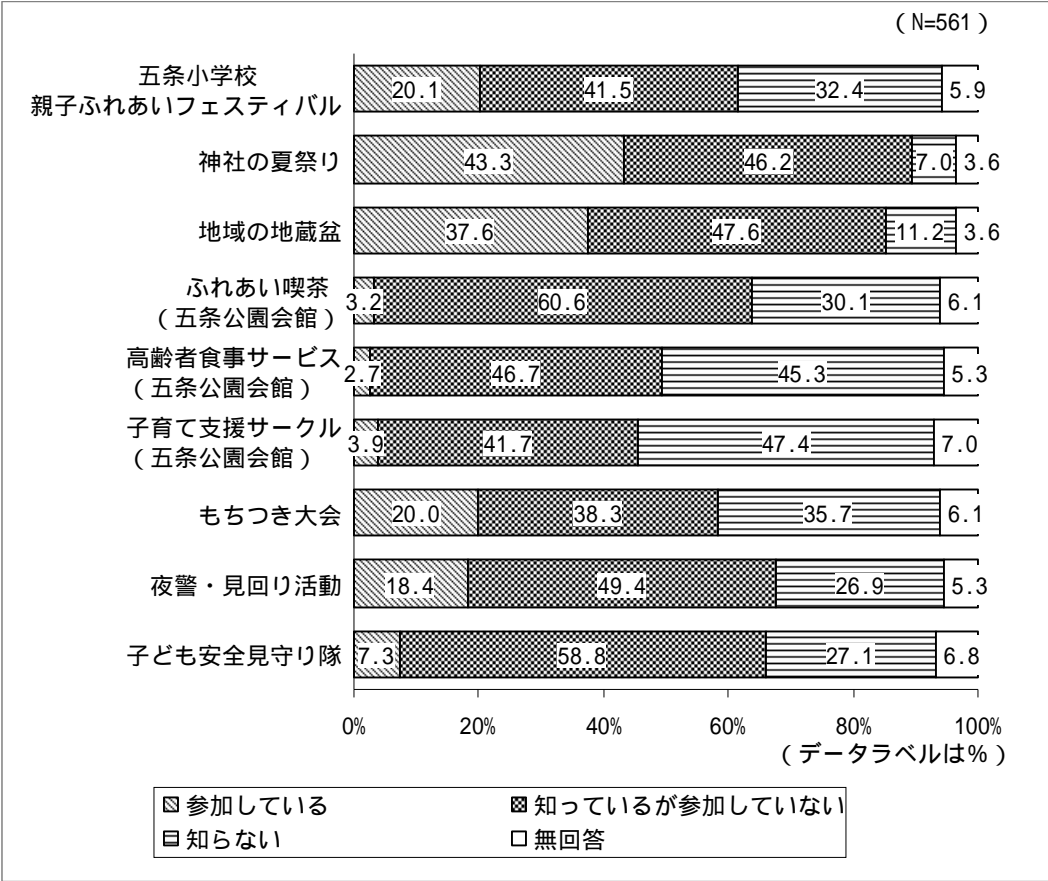


(上段:人, 下段:%)

		いよく るく 参加 して	て時 い に が る は あ た た っ た	い時 る 々 参 加 し て	しほ て と い ん な ど い 参 加	無 回 答	
全体	(N=561)	46 (8.2)	109 (19.4)	132 (23.5)	268 (47.8)	6 (1.1)	
年齢	20歳代	(N=53)	0 (0.0)	1 (1.9)	10 (18.9)	42 (79.2)	0 (0.0)
	30歳代	(N=75)	4 (5.3)	7 (9.3)	22 (29.3)	40 (53.3)	2 (2.7)
	40歳代	(N=126)	8 (6.3)	22 (17.5)	39 (31.0)	57 (45.2)	0 (0.0)
	50歳代	(N=105)	8 (7.6)	29 (27.6)	14 (13.3)	53 (50.5)	1 (1.0)
	60歳代	(N=101)	11 (10.9)	27 (26.7)	21 (20.8)	40 (39.6)	2 (2.0)
	70歳以上	(N=85)	11 (12.9)	21 (24.7)	24 (28.2)	29 (34.1)	0 (0.0)
住宅 形態	一戸建て(持ち家)	(N=240)	27 (11.3)	79 (32.9)	60 (25.0)	72 (30.0)	2 (0.8)
	一戸建て(賃貸)	(N=8)	2 (25.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	3 (37.5)	1 (12.5)
	マンション等(持ち家)	(N=182)	10 (5.5)	22 (12.1)	47 (25.8)	103 (56.6)	0 (0.0)
	マンション等(賃貸)	(N=109)	5 (4.6)	3 (2.8)	21 (19.3)	78 (71.6)	2 (1.8)
	その他	(N=11)	1 (9.1)	3 (27.3)	2 (18.2)	5 (45.5)	0 (0.0)

(5) 各行事・活動への参加状況・認知度 (問13)

- ・「知っている」(「参加している」と「知っているが参加していない」の合計)の割合が最も高いのは「 神社の夏祭り」で89.5% (43.3% + 46.2%)、ついで「 地域の地蔵盆」が85.2% (37.6% + 47.6%) となっている。
- ・「参加している」の割合が最も高いのは「 神社の夏祭り」で43.3%、ついで「 地域の地蔵盆」の37.6%となっている。
- ・一方、「知らない」の割合が最も高いのは「 子育て支援サークル」で47.4%。ついで「 高齢者食事サービス」が45.3%、「 もちつき大会」が35.7%となっている。



五条小学校親子ふれあいフェスティバル

・子どもの状況別にみると、「小学生がいる」で「参加している」の割合が高い。
一方、「未就学児がいる」では「知らない」の割合が高い。

(上段:人,下段:%)

		参加している	参加しているが い	知らない	無回答
全体	(N=561)	113 (20.1)	233 (41.5)	182 (32.4)	33 (5.9)
子ども (高校生 以下)	いる(高校生以下)	88 (41.5)	82 (38.7)	40 (18.9)	2 (0.9)
	うち、未就学児がいる	18 (23.1)	27 (34.6)	32 (41.0)	1 (1.3)
	うち、小学生がいる	67 (73.6)	20 (22.0)	4 (4.4)	0 (0.0)
	うち、中学生がいる	32 (47.1)	34 (50.0)	2 (2.9)	0 (0.0)
	うち、高校生がいる	21 (35.0)	32 (53.3)	6 (10.0)	1 (1.7)
	いない	20 (7.0)	128 (44.8)	117 (40.9)	21 (7.3)

神社の夏祭り

・子どもの状況別にみると、「子どもがいる」で「参加している」の割合が高い。
一方、「未就学児がいる」では「知らない」の割合も高い。

(上段:人,下段:%)

		参加している	参加しているが い	知らない	無回答
全体	(N=561)	243 (43.3)	259 (46.2)	39 (7.0)	20 (3.6)
子ども (高校生 以下)	いる(高校生以下)	127 (59.9)	70 (33.0)	14 (6.6)	1 (0.5)
	うち、未就学児がいる	50 (64.1)	17 (21.8)	10 (12.8)	1 (1.3)
	うち、小学生がいる	71 (78.0)	19 (20.9)	1 (1.1)	0 (0.0)
	うち、中学生がいる	39 (57.4)	29 (42.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
	うち、高校生がいる	29 (48.3)	27 (45.0)	4 (6.7)	0 (0.0)
	いない	95 (33.2)	157 (54.9)	21 (7.3)	13 (4.5)

地域の地蔵盆

- ・子どもの状況別にみると、「子どもがいる」で「参加している」の割合が高い。一方、「未就学児がいる」では「知らない」の割合も高い。

(上段:人,下段:%)

		参加している	参加しているが ない	知らない	無回答
全体	(N=561)	211 (37.6)	267 (47.6)	63 (11.2)	20 (3.6)
子ども (高校生 以下)	いる(高校生以下)	108 (50.9)	83 (39.2)	21 (9.9)	0 (0.0)
	うち、未就学児がいる	39 (50.0)	26 (33.3)	13 (16.7)	0 (0.0)
	うち、小学生がいる	68 (74.7)	19 (20.9)	4 (4.4)	0 (0.0)
	うち、中学生がいる	38 (55.9)	28 (41.2)	2 (2.9)	0 (0.0)
	うち、高校生がいる	25 (41.7)	31 (51.7)	4 (6.7)	0 (0.0)
	いない	81 (28.3)	152 (53.1)	39 (13.6)	14 (4.9)

ふれあい喫茶（五条公園会館）

- ・年齢別にみると、「70歳以上」の認知度（「参加している」と「知っているが、参加していない」の合計）は74.2%で、「参加している」割合は11.8%である。

(上段:人,下段:%)

		参加している	参加しているが ない	知らない	無回答
全体	(N=561)	18 (3.2)	340 (60.6)	169 (30.1)	34 (6.1)
年齢	20歳代	0 (0.0)	18 (34.0)	33 (62.3)	2 (3.8)
	30歳代	0 (0.0)	41 (54.7)	33 (44.0)	1 (1.3)
	40歳代	1 (0.8)	93 (73.8)	31 (24.6)	1 (0.8)
	50歳代	0 (0.0)	63 (60.0)	36 (34.3)	6 (5.7)
	60歳代	5 (5.0)	64 (63.4)	26 (25.7)	6 (5.9)
	70歳以上	10 (11.8)	53 (62.4)	8 (9.4)	14 (16.5)

高齢者食事サービス（五条公園会館）

・年齢別にみると、「70歳以上」の認知度（「参加している」と「知っているが、参加していない」の合計）は63.5%で、「参加している」割合は5.9%である。

(上段:人,下段:%)

			参加している	参加しているが いい	知らない	無回答
全体		(N=561)	15 (2.7)	262 (46.7)	254 (45.3)	30 (5.3)
年齢	20歳代	(N=53)	0 (0.0)	13 (24.5)	38 (71.7)	2 (3.8)
	30歳代	(N=75)	0 (0.0)	26 (34.7)	49 (65.3)	0 (0.0)
	40歳代	(N=126)	1 (0.8)	59 (46.8)	65 (51.6)	1 (0.8)
	50歳代	(N=105)	1 (1.0)	49 (46.7)	49 (46.7)	6 (5.7)
	60歳代	(N=101)	6 (5.9)	58 (57.4)	32 (31.7)	5 (5.0)
	70歳以上	(N=85)	5 (5.9)	49 (57.6)	18 (21.2)	13 (15.3)

子育て支援サークル（五条公園会館）

・子どもの状況別にみると、「未就学児がいる」の認知度（「参加している」と「知っているが、参加していない」の合計）は73.0%で、「参加している」割合は17.9%である。

(上段:人,下段:%)

			参加している	参加しているが いい	知らない	無回答
全体		(N=561)	22 (3.9)	234 (41.7)	266 (47.4)	39 (7.0)
子ども (高校生 以下)	いる(高校生以下)	(N=212)	17 (8.0)	108 (50.9)	81 (38.2)	6 (2.8)
	うち、未就学児がいる	(N=78)	14 (17.9)	43 (55.1)	19 (24.4)	2 (2.6)
	うち、小学生がいる	(N=91)	4 (4.4)	47 (51.6)	36 (39.6)	4 (4.4)
	うち、中学生がいる	(N=68)	1 (1.5)	41 (60.3)	26 (38.2)	0 (0.0)
	うち、高校生がいる	(N=60)	2 (3.3)	33 (55.0)	24 (40.0)	1 (1.7)
	いない	(N=286)	4 (1.4)	102 (35.7)	161 (56.3)	19 (6.6)

もちつき大会

・子どもの状況別にみると、「小学生がいる」で「参加している」が51.6%となっている。一方、「未就学児がいる」では「知らない」が48.7%となっている。

(上段:人, 下段:%)

			参加している	参加しているが い	知らない	無回答
全体		(N=561)	112 (20.0)	215 (38.3)	200 (35.7)	34 (6.1)
子ども (高校生以下)	いる(高校生以下)	(N=212)	66 (31.1)	72 (34.0)	71 (33.5)	3 (1.4)
	うち、未就学児がいる	(N=78)	19 (24.4)	20 (25.6)	38 (48.7)	1 (1.3)
	うち、小学生がいる	(N=91)	47 (51.6)	29 (31.9)	14 (15.4)	1 (1.1)
	うち、中学生がいる	(N=68)	26 (38.2)	27 (39.7)	15 (22.1)	0 (0.0)
	うち、高校生がいる	(N=60)	16 (26.7)	26 (43.3)	17 (28.3)	1 (1.7)
	いない	(N=286)	39 (13.6)	119 (41.6)	108 (37.8)	20 (7.0)

夜警・見回り活動

・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「参加している」の割合が高くなっている。

(上段:人, 下段:%)

			参加している	参加しているが い	知らない	無回答
全体		(N=561)	103 (18.4)	277 (49.4)	151 (26.9)	30 (5.3)
年齢	20歳代	(N=53)	2 (3.8)	24 (45.3)	25 (47.2)	2 (3.8)
	30歳代	(N=75)	6 (8.0)	28 (37.3)	41 (54.7)	0 (0.0)
	40歳代	(N=126)	15 (11.9)	64 (50.8)	45 (35.7)	2 (1.6)
	50歳代	(N=105)	26 (24.8)	57 (54.3)	17 (16.2)	5 (4.8)
	60歳代	(N=101)	29 (28.7)	55 (54.5)	13 (12.9)	4 (4.0)
	70歳以上	(N=85)	21 (24.7)	42 (49.4)	9 (10.6)	13 (15.3)

子ども安全見守り隊

・子どもの状況別にみると、「小学生がいる」で「参加している」が28.6%となっている。一方、「未就学児がいる」では「知らない」が42.3%となっている。

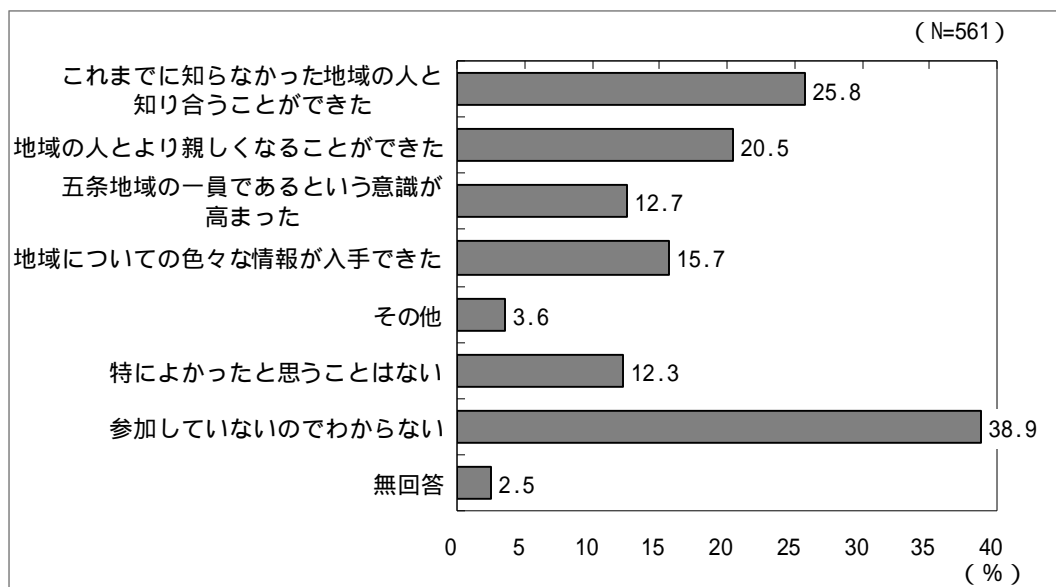
(上段:人,下段:%)

		参加している	参加しているが いい	知らない	無回答
全体	(N=561)	41 (7.3)	330 (58.8)	152 (27.1)	38 (6.8)
子ども (高校生以下)	いる(高校生以下)	33 (15.6)	124 (58.5)	50 (23.6)	5 (2.4)
	うち、未就学児がいる	4 (5.1)	39 (50.0)	33 (42.3)	2 (2.6)
	うち、小学生がいる	26 (28.6)	57 (62.6)	5 (5.5)	3 (3.3)
	うち、中学生がいる	13 (19.1)	45 (66.2)	10 (14.7)	0 (0.0)
	うち、高校生がいる	10 (16.7)	39 (65.0)	10 (16.7)	1 (1.7)
	いない	6 (2.1)	171 (59.8)	89 (31.1)	20 (7.0)

(6) 行事・活動に参加してよかったと思うこと (問14・複数回答)

・「これまでに知らなかった地域の人と知り合うことができた」が25.8%で最も多く、ついで「地域の人とより親しくなることができた」が20.5%、「地域についての色々な情報が入手できた」が15.7%となっている。

・年齢別にみると、「30歳代」で「地域についての色々な情報が入手できた」とする割合が他の年齢より高い。近隣とのおつきあいの状況別にみると、「親しく交流している」「決まりごとには参加している」で「よかった」と思う割合が高くなっている。

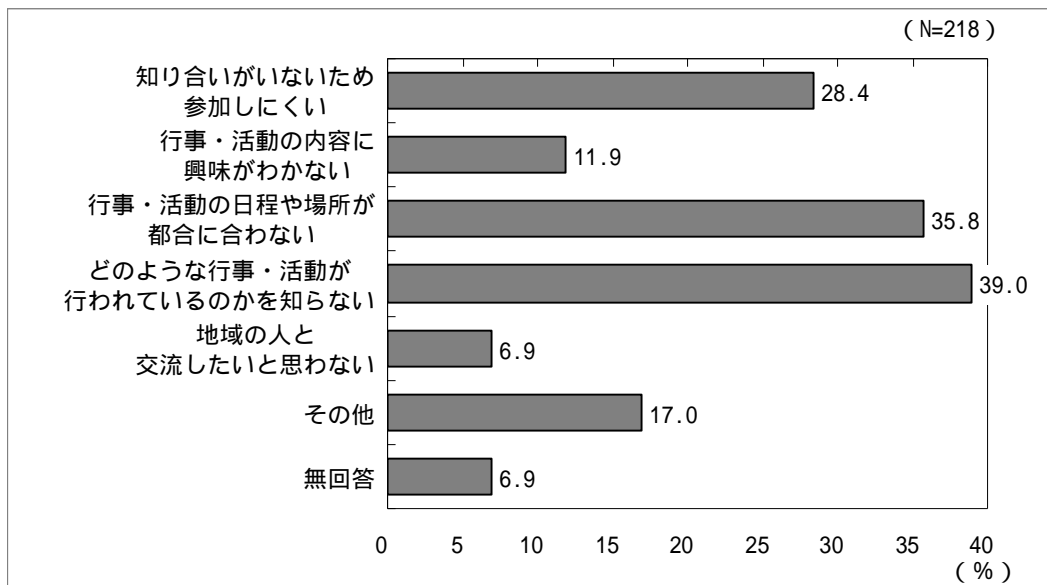


		こた	な地	と五	情地	と特	そ	が参	無
		こ	な	と	情	と	そ	が	無
		た	地	五	地	特	他	参	回
		こ	域	条	域	に		加	答
		れ	の	の	が	よ		な	
		ま	こ	意	入	い		い	
		で	の	識	手	か		い	
		き	人	が	い	っ		な	
		と	に	一	て	た		い	
		知	知	員	て	と		い	
		り							
全体	(N=561)	145 (25.8)	115 (20.5)	71 (12.7)	88 (15.7)	69 (12.3)	20 (3.6)	218 (38.9)	14 (2.5)
年齢	20歳代 (N=53)	6 (11.3)	3 (5.7)	4 (7.5)	7 (13.2)	5 (9.4)	4 (7.5)	30 (56.6)	1 (1.9)
	30歳代 (N=75)	17 (22.7)	14 (18.7)	14 (18.7)	16 (21.3)	9 (12.0)	5 (6.7)	24 (32.0)	1 (1.3)
	40歳代 (N=126)	29 (23.0)	23 (18.3)	15 (11.9)	23 (18.3)	23 (18.3)	8 (6.3)	40 (31.7)	0 (0.0)
	50歳代 (N=105)	28 (26.7)	24 (22.9)	9 (8.6)	11 (10.5)	11 (10.5)	1 (1.0)	45 (42.9)	3 (2.9)
	60歳代 (N=101)	28 (27.7)	21 (20.8)	12 (11.9)	12 (11.9)	13 (12.9)	1 (1.0)	45 (44.6)	2 (2.0)
	70歳以上 (N=85)	30 (35.3)	26 (30.6)	14 (16.5)	15 (17.6)	6 (7.1)	1 (1.2)	29 (34.1)	6 (7.1)
近隣の方 とのお付 き合い状 況	家の行き来をするなど、親しく交 流している (N=102)	52 (51.0)	54 (52.9)	18 (17.6)	29 (28.4)	6 (5.9)	5 (4.9)	13 (12.7)	2 (2.0)
	地域の清掃など、決まりごとには 参加している (N=65)	37 (56.3)	26 (40.0)	15 (23.1)	18 (27.7)	4 (6.2)	1 (1.5)	5 (7.7)	0 (0.0)
	あいさつをする程度でほとんどつ きあいが無い (N=367)	54 (14.7)	33 (9.0)	37 (10.1)	40 (10.9)	54 (14.7)	13 (3.5)	184 (50.1)	9 (2.5)
	まったくつきあいが無い (N=19)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (21.1)	0 (0.0)	15 (78.9)	0 (0.0)

(7) 行事・活動に参加しない理由(問14-1・複数回答)

・「どのような行事・活動が行われているのかわからない」が39.0%で最も多く、ついで「行事・活動の日程や場所が都合に合わない」が35.8%、「知り合いがいないため参加しにくい」が28.4%となっている。「地域の人と交流したいと思わない」の割合は6.9%にとどまっている。

・年齢別にみると、「20歳代」「30歳代」で「行事・活動を知らない」、「30歳代」「40歳代」で「知り合いがいないため参加しにくい」の割合が高い。町会への加入状況別にみると、「加入していない」で「行事・活動を知らない」の割合が高くなっている。



		(上段:人, 下段:%)							
		め知	興行	い場	か動	ど	い地	そ	無
		参り	味事	場所	をが	の	と	他	回
		加合	が・	が・	知行	の	思		答
		しい	わ活	都活	ら行	思	わ		
		にが	か動	合動	なれ	わ	な		
		くい	ない	の	ない	な	と		
		いな	い	合	い	い	交		
		いた	内容	日	事	い	流		
			に	程	る・	し	し		
				な	の活	た	た		
全体	(N=218)	62 (28.4)	26 (11.9)	78 (35.8)	85 (39.0)	15 (6.9)	37 (17.0)	15 (6.9)	
年齢	20歳代 (N=30)	8 (26.7)	3 (10.0)	12 (40.0)	16 (53.3)	1 (3.3)	0 (0.0)	4 (13.3)	
	30歳代 (N=24)	11 (45.8)	0 (0.0)	9 (37.5)	11 (45.8)	0 (0.0)	4 (16.7)	1 (4.2)	
	40歳代 (N=40)	14 (35.0)	9 (22.5)	16 (40.0)	17 (42.5)	4 (10.0)	5 (12.5)	2 (5.0)	
	50歳代 (N=45)	6 (13.3)	4 (8.9)	15 (33.3)	16 (35.6)	6 (13.3)	13 (28.9)	2 (4.4)	
	60歳代 (N=45)	15 (33.3)	6 (13.3)	18 (40.0)	14 (31.1)	1 (2.2)	6 (13.3)	3 (6.7)	
	70歳以上 (N=29)	7 (24.1)	2 (6.9)	6 (20.7)	9 (31.0)	2 (6.9)	8 (27.6)	3 (10.3)	
	町会への加入	加入している (N=129)	33 (25.6)	13 (10.1)	52 (40.3)	38 (29.5)	8 (6.2)	28 (21.7)	7 (5.4)
加入していない (N=49)		14 (28.6)	7 (14.3)	13 (26.5)	26 (53.1)	5 (10.2)	4 (8.2)	4 (8.2)	
わからない (N=40)		15 (37.5)	6 (15.0)	13 (32.5)	21 (52.5)	2 (5.0)	5 (12.5)	4 (10.0)	

(8) 参加してみたい行事・活動(問14-2・自由記述)

同じ世代の住民が交流できるイベント

- ・若者も興味が持てるイベントなどがあればよいと思います。
- ・単身者でも参加しやすく、まじりやすい活動。
- ・同じ年代の人が集まるようなものであれば参加してみたいです。
- ・若者同士の合コン。
- ・世代によって興味も異なると思うので、世代別の催し物などがいいと思います。
- ・子育てや高齢者だけではなくて、20～30代の独身者が参加できるイベント。
- ・若い女性の会。
- ・同世代の子どもを持つ家族の集まり。

気軽に参加できるイベント

- ・夏祭り、地蔵盆、もちつき大会。
- ・お祭りやフリーマーケットなど。
- ・クリスマスやお正月など、イベント的な行事・活動があれば参加してみたい。
- ・気軽に参加できる集会、飲み会、イベントなど。仲良しクラブのようでない活動の方が参加しやすい。
- ・障がい者の方達も参加できるような行事。
- ・誰でも参加できる市民運動会。

文化・スポーツ

- ・老化予防体操、高齢者への介護・対処法など。
- ・文化活動(習字や絵画など)、それも勝手ながら五条会館など近くにあれば尚よいと思います。
- ・料理教室、アロマやマッサージ等の体験。
- ・生花、盆栽などの研修。
- ・手芸や料理などの教室。
- ・文化(音楽など)、スポーツ活動。
- ・土日や平日夜のカルチャーサークル(例えばヨガや囲碁)。
- ・自分の趣味に合った活動(カメラ、ゴルフなど)。
- ・スポーツ関係の講座(健康維持に関するもの)、趣味の講座など。
- ・読書や手芸教室、ボランティア。
- ・創作や自己啓発教室のようなもの。

子ども・子育て

- ・子育てなどの行事。
- ・親子ふれあいフェスティバルに参加してみたい。音楽のつどいみたいなのも嬉しい(子どもつきでオーケストラとか聞けるみたいな)。

- ・子どもと共にできる行事。
- ・子どもができたなら参加したい。
- ・小さい子どもでも気軽に楽しめる行事。
- ・子育てサークル、夏祭りなど。
- ・幼児がいるので、子育てに関する行事に参加してみたいです。
- ・子どもがいるので、子どもとの行事や活動があるのなら参加してみたい。

防災

- ・防災の具体的計画作成なら参加したい。
- ・火災や地震の防災訓練、レスキュー等々。
- ・避難訓練。

清掃

- ・地域の清掃など。
- ・清掃活動。

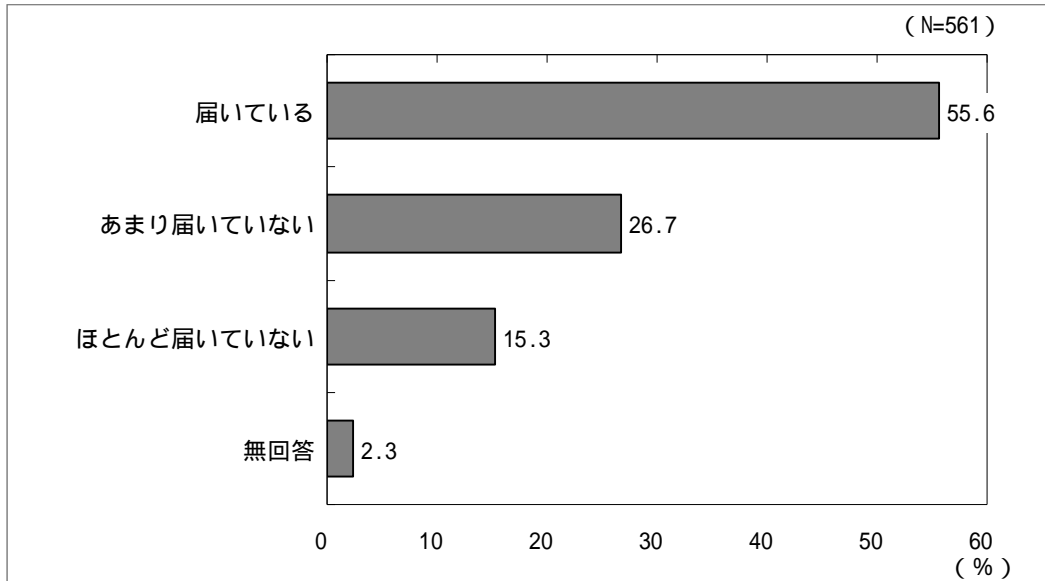
その他

- ・地域の行事や活動があったこと自体知らなかったです。あれば参加してみたいです。
- ・形式的な付き合いで無い行事、世話人・役員の影響の少ない行事（ある程度楽しめるもの）。
- ・マンションの住民などともっと密着した行事を行って欲しい。
- ・まちの活性にもっと力を入れて欲しいと思います。
- ・名札を作って諸先輩方が温かく迎えて頂ければ参加しやすいと思います。
- ・引越してきたばかりなので、よく分からないが、子ども達やお年寄りが喜びそうなこと。
- ・楽しそうなら。

(9) 地域の行事・活動に関する情報の到達状況(問15)

・「届いている」が55.6%で最も多く、ついで「あまり届いていない」が26.7%となっている。情報が届いていない人(「あまり届いていない」と「ほとんど届いていない」の合計)は42.0%(26.7%+15.3%)となっている。

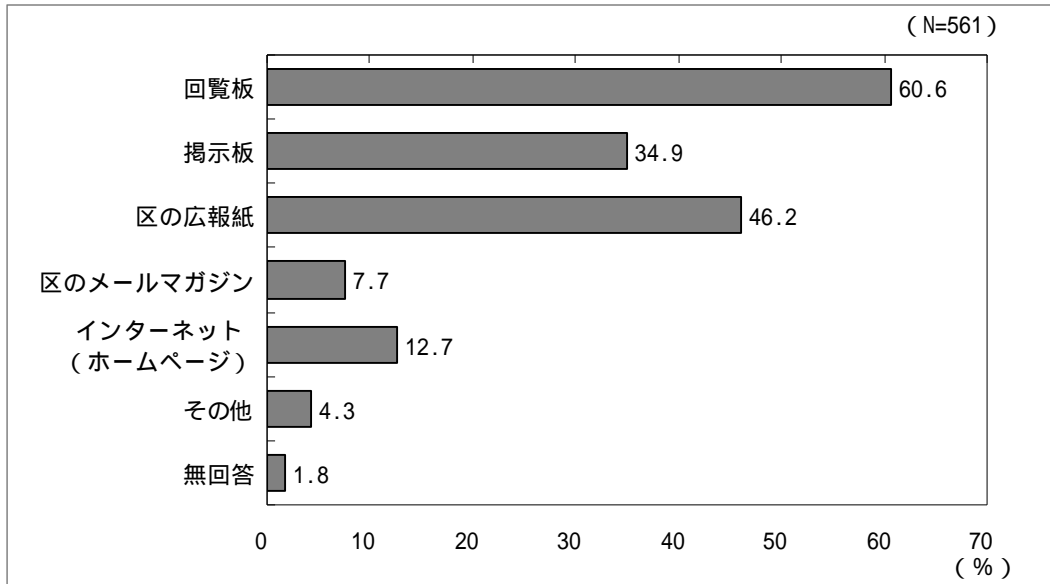
・年齢別では「20歳代」、住宅形態別では「マンション等」、町会への加入状況では「加入していない」で、情報が届いていない割合が高い。



		(上段:人, 下段:%)				
		届いている	いあまり り届いて	てほと いな いど届	無 回 答	
全体	(N=561)	312 (55.6)	150 (26.7)	86 (15.3)	13 (2.3)	
年齢	20歳代	(N=53)	18 (34.0)	20 (37.7)	14 (26.4)	1 (1.9)
	30歳代	(N=75)	38 (50.7)	22 (29.3)	13 (17.3)	2 (2.7)
	40歳代	(N=126)	64 (50.8)	40 (31.7)	20 (15.9)	2 (1.6)
	50歳代	(N=105)	61 (58.1)	27 (25.7)	16 (15.2)	1 (1.0)
	60歳代	(N=101)	59 (58.4)	27 (26.7)	13 (12.9)	2 (2.0)
	70歳以上	(N=85)	64 (75.3)	10 (11.8)	8 (9.4)	3 (3.5)
	住宅形態	一戸建て(持ち家)	(N=240)	177 (73.8)	45 (18.8)	11 (4.6)
一戸建て(賃貸)		(N=8)	6 (75.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
マンション等(持ち家)		(N=182)	76 (41.8)	67 (36.8)	37 (20.3)	2 (1.1)
マンション等(賃貸)		(N=109)	40 (36.7)	32 (29.4)	34 (31.2)	3 (2.8)
その他		(N=11)	9 (81.8)	1 (9.1)	1 (9.1)	0 (0.0)
町会への加入	加入している	(N=417)	286 (68.6)	95 (22.8)	27 (6.5)	9 (2.2)
	加入していない	(N=69)	10 (14.5)	26 (37.7)	32 (46.4)	1 (1.4)
	わからない	(N=71)	15 (21.1)	29 (40.8)	27 (38.0)	0 (0.0)

(10) 地域情報を知らせる上で希望する方法(問16・複数回答)

- ・「回覧板」が60.6%で最も多く、ついで「区の広報紙」が46.2%、「掲示板」が34.9%となっている。
- ・年齢別では「60歳代」「70歳代」、住宅形態別では「一戸建て」において「回覧板」の割合が高くなっている。町会への加入状況別では「加入していない」で「区の広報紙」の割合が高くなっている。

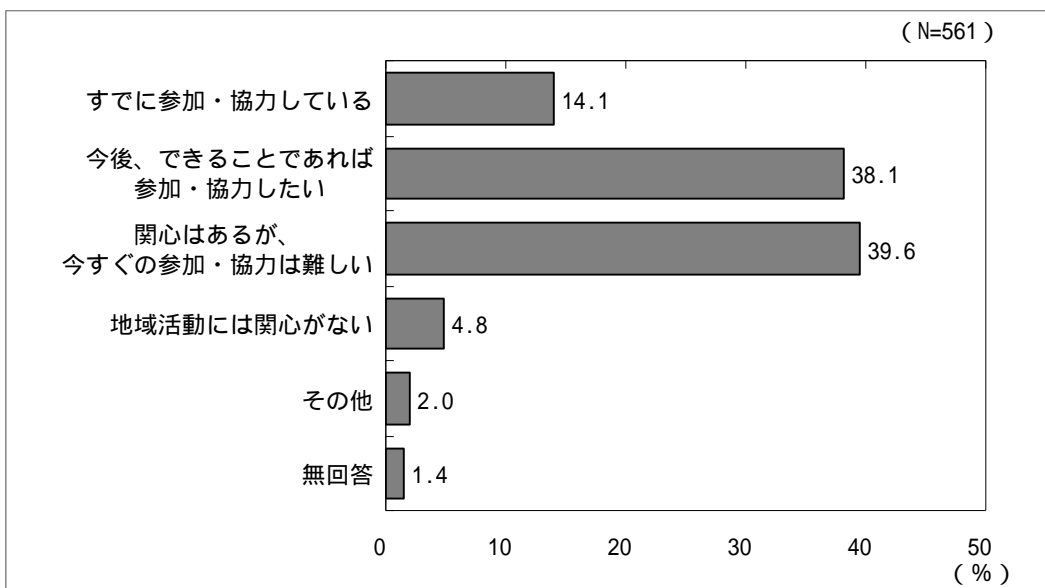


(上段:人,下段:%)

		回覧板	掲示板	区の広報紙	区のメールマガジン	インターネット(ホームページ)	その他	無回答	
全体		(N=561)	340 (60.6)	196 (34.9)	259 (46.2)	43 (7.7)	71 (12.7)	24 (4.3)	10 (1.8)
年齢	20歳代	(N=53)	23 (43.4)	20 (37.7)	19 (35.8)	5 (9.4)	10 (18.9)	3 (5.7)	1 (1.9)
	30歳代	(N=75)	40 (53.3)	31 (41.3)	47 (62.7)	9 (12.0)	13 (17.3)	4 (5.3)	0 (0.0)
	40歳代	(N=126)	61 (48.4)	54 (42.9)	61 (48.4)	14 (11.1)	18 (14.3)	10 (7.9)	2 (1.6)
	50歳代	(N=105)	66 (62.9)	30 (28.6)	47 (44.8)	11 (10.5)	18 (17.1)	3 (2.9)	3 (2.9)
	60歳代	(N=101)	67 (66.3)	32 (31.7)	49 (48.5)	4 (4.0)	10 (9.9)	2 (2.0)	1 (1.0)
	70歳以上	(N=85)	74 (87.1)	24 (28.2)	31 (36.5)	0 (0.0)	2 (2.4)	2 (2.4)	2 (2.4)
住宅形態	一戸建て(持ち家)	(N=240)	197 (82.1)	65 (27.1)	92 (38.3)	13 (5.4)	26 (10.8)	8 (3.3)	4 (1.7)
	一戸建て(賃貸)	(N=8)	7 (87.5)	1 (12.5)	3 (37.5)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
	マンション等(持ち家)	(N=182)	78 (42.9)	78 (42.9)	95 (52.2)	18 (9.9)	28 (15.4)	9 (4.9)	1 (0.5)
	マンション等(賃貸)	(N=109)	47 (43.1)	46 (42.2)	61 (56.0)	11 (10.1)	13 (11.9)	7 (6.4)	3 (2.8)
	その他	(N=11)	7 (63.6)	2 (18.2)	4 (36.4)	1 (9.1)	3 (27.3)	0 (0.0)	1 (9.1)
町会への加入	加入している	(N=417)	303 (72.7)	141 (33.8)	182 (43.6)	22 (5.3)	50 (12.0)	15 (3.6)	4 (1.0)
	加入していない	(N=69)	11 (15.9)	26 (37.7)	43 (62.3)	11 (15.9)	6 (8.7)	4 (5.8)	2 (2.9)
	わからない	(N=71)	26 (36.6)	29 (40.8)	33 (46.5)	10 (14.1)	14 (19.7)	5 (7.0)	1 (1.4)

(1 1) 今後の地域活動への協力意向 (問17)

- ・「関心はあるが、今すぐの参加・協力は難しい」が39.6%で最も多く、ついで「今後、できることであれば参加・協力したい」が38.1%。「すでに参加・協力している」が14.1%となっている。「地域活動には関心がない」は4.8%にとどまっている。
- ・子どもの状況別にみると、「子どもがいる」で、「今後、できることであれば参加・協力したい」の割合が51.4%と高くなっている。町会への加入状況別にみると、「加入していない」でも、「今後、できることであれば参加・協力したい」の割合が36.2%となっている。



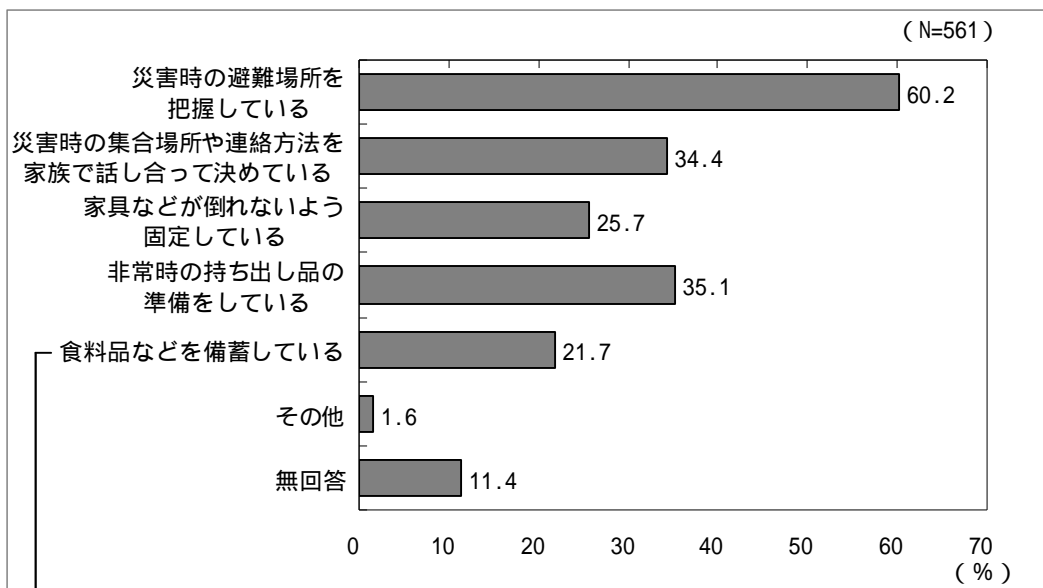
(上段:人, 下段:%)

		しす てで いに る参 加・ 協力	力で しあ 後た れ、 いば で参 加・ こ協 と	はず 関 難ぐ 心し のは い参 あ 加 る が 協、 力今	が地 な域 い活 動に は関 心	そ の 他	無 回 答
全体	(N=561)	79 (14.1)	214 (38.1)	222 (39.6)	27 (4.8)	11 (2.0)	8 (1.4)
子ども (高校生 以下)	いる(高校生以下)	21 (9.9)	109 (51.4)	70 (33.0)	8 (3.8)	3 (1.4)	1 (0.5)
	うち、未就学児がいる	1 (1.3)	49 (62.8)	27 (34.6)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
	うち、小学生がいる	14 (15.4)	45 (49.5)	26 (28.6)	5 (5.5)	0 (0.0)	1 (1.1)
	うち、中学生がいる	11 (16.2)	25 (36.8)	25 (36.8)	5 (7.4)	1 (1.5)	1 (1.5)
	うち、高校生がいる	6 (10.0)	27 (45.0)	20 (33.3)	4 (6.7)	3 (5.0)	0 (0.0)
	いない	43 (15.0)	88 (30.8)	127 (44.4)	18 (6.3)	7 (2.4)	3 (1.0)
町会への 加入	加入している	78 (18.7)	160 (38.4)	150 (36.0)	17 (4.1)	9 (2.2)	3 (0.7)
	加入していない	0 (0.0)	25 (36.2)	37 (53.6)	5 (7.2)	1 (1.4)	1 (1.4)
	わからない	1 (1.4)	28 (39.4)	35 (49.3)	5 (7.0)	1 (1.4)	1 (1.4)

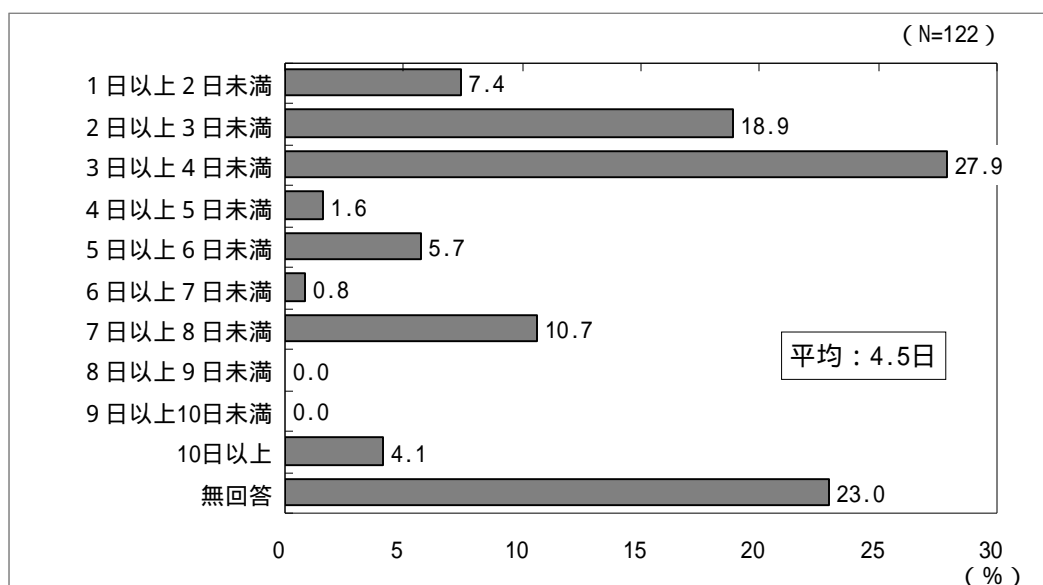
3. 防災に関する取り組みについて

(1) 災害時の対策についての取り組み（問18・複数回答）

- ・「災害時の避難場所を把握している」が60.2%で最も多く、ついで「非常時の持ち出し品の準備をしている」が35.1%、「災害時の集合場所や連絡方法を家族で話し合っている」が34.4%となっている。
- ・「食料品などを備蓄している」について備蓄日数をみると、「3日以上4日未満」が27.9%で最も高く、ついで「2日以上3日未満」が18.9%となっている。また、平均備蓄日数は4.5日である。



【食料品などの備蓄日数】



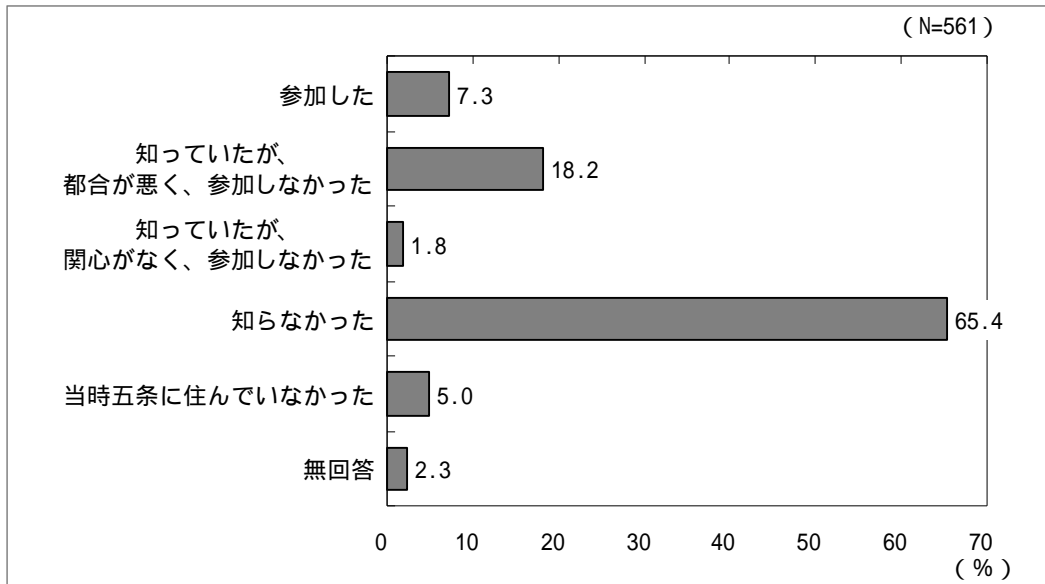
- ・年齢別にみると、「20歳代」では、「災害時の避難場所を把握している」は47.2%にとどまる。
- ・子どもの状況別にみると、「子どもがいる」では、「災害時の集合場所や連絡方法を家族で話し合っている」割合が高い。
- ・年齢に関わらず、「家具の固定」「食料品などの備蓄」をしているのは4分の1程度の世帯にとどまっている。

(上段:人,下段:%)

		握災 害時 の 避 難 場 所 を 把 握 し て い る	合絡災 っ方害 て法時 決をの め家集 いで場 る話所 しや連 合	う家 固具 定な どが し て い る 倒 れ な い よ	準非 備常 を時 の持 て い ち し 品 の	い食 料品 な ど を 備 蓄 し て	そ の 他	無 回 答
全体	(N=561)	338 (60.2)	193 (34.4)	144 (25.7)	197 (35.1)	122 (21.7)	9 (1.6)	64 (11.4)
年齢	20歳代	(N=53) 25 (47.2)	20 (37.7)	8 (15.1)	13 (24.5)	5 (9.4)	2 (3.8)	11 (20.8)
	30歳代	(N=75) 38 (50.7)	26 (34.7)	18 (24.0)	19 (25.3)	17 (22.7)	1 (1.3)	9 (12.0)
	40歳代	(N=126) 78 (61.9)	55 (43.7)	37 (29.4)	54 (42.9)	32 (25.4)	0 (0.0)	11 (8.7)
	50歳代	(N=105) 63 (60.0)	40 (38.1)	29 (27.6)	32 (30.5)	25 (23.8)	1 (1.0)	6 (5.7)
	60歳代	(N=101) 76 (75.2)	32 (31.7)	30 (29.7)	40 (39.6)	22 (21.8)	2 (2.0)	5 (5.0)
	70歳以上	(N=85) 54 (63.5)	19 (22.4)	22 (25.9)	37 (43.5)	20 (23.5)	2 (2.4)	12 (14.1)
	子ども (高校生 以下)	いる(高校生以下)	(N=212) 123 (58.0)	92 (43.4)	56 (26.4)	71 (33.5)	49 (23.1)	2 (0.9)
うち、未就学児がいる		(N=78) 39 (50.0)	26 (33.3)	17 (21.8)	21 (26.9)	20 (25.6)	1 (1.3)	8 (10.3)
うち、小学生がいる		(N=91) 63 (69.2)	38 (41.8)	26 (28.6)	29 (31.9)	19 (20.9)	0 (0.0)	7 (7.7)
うち、中学生がいる		(N=68) 39 (57.4)	33 (48.5)	22 (32.4)	30 (44.1)	15 (22.1)	1 (1.5)	3 (4.4)
うち、高校生がいる		(N=60) 36 (60.0)	29 (48.3)	17 (28.3)	21 (35.0)	18 (30.0)	0 (0.0)	6 (10.0)
いない		(N=286) 177 (61.9)	87 (30.4)	76 (26.6)	105 (36.7)	66 (23.1)	7 (2.4)	30 (10.5)

(2) 避難所開設・運営訓練(平成22年11月)への参加状況(問19)

- ・「知らなかった」が65.4%で最も多く、ついで「知っていたが、都合が悪く、参加しなかった」が18.2%となっている。
- ・年齢別にみると、「20歳代」「30歳代」で「知らなかった」割合が高い。また、町会への加入状況別にみると、「加入している」でも「知らなかった」割合は60.9%となっている。



(上段:人,下段:%)

		参加した	かが悪く、参加したくない、都合	かが悪く、参加したくない、関心	知らなかった	で1当 い1時 な月 な(平 か)成 っ五 た条2 に2 住年 ん	無回答
全体		(N=561) 41 (7.3)	102 (18.2)	10 (1.8)	367 (65.4)	28 (5.0)	13 (2.3)
年齢	20歳代	(N=53) 0 (0.0)	6 (11.3)	1 (1.9)	40 (75.5)	6 (11.3)	0 (0.0)
	30歳代	(N=75) 2 (2.7)	5 (6.7)	1 (1.3)	58 (77.3)	9 (12.0)	0 (0.0)
	40歳代	(N=126) 5 (4.0)	26 (20.6)	1 (0.8)	88 (69.8)	6 (4.8)	0 (0.0)
	50歳代	(N=105) 9 (8.6)	17 (16.2)	0 (0.0)	75 (71.4)	4 (3.8)	0 (0.0)
	60歳代	(N=101) 16 (15.8)	19 (18.8)	5 (5.0)	59 (58.4)	2 (2.0)	0 (0.0)
	70歳以上	(N=85) 6 (7.1)	29 (34.1)	2 (2.4)	43 (50.6)	1 (1.2)	4 (4.7)
町会への加入	加入している	(N=417) 41 (9.8)	93 (22.3)	9 (2.2)	254 (60.9)	12 (2.9)	8 (1.9)
	加入していない	(N=69) 0 (0.0)	2 (2.9)	0 (0.0)	55 (79.7)	9 (13.0)	3 (4.3)
	わからない	(N=71) 0 (0.0)	7 (9.9)	1 (1.4)	55 (77.5)	7 (9.9)	1 (1.4)

【参加して良かった点・改善すべき点】

[参加してよかった点]

意識が高まった

- ・意識が高まりました。

具体的な方法がわかった

- ・実際に見て行動して、とても参考になりました。
- ・段取りがわかって心の準備ができた。
- ・消防署の方々は縄の使い方や色々指導してくださいました。
- ・怪我人の受け入れ順序などがよくわかりました。
- ・勉強になりました。
- ・救急対応の処置。

安心した

- ・町会の炊き出しに参加させていただきました。皆さま訓練が良く行き届いていた。
- ・身近に感じる事ができ、少し安心する気持になれた。

[改善すべき点]

活動のさらなるレベルアップを

- ・受付等に時間がかかり、又は方法が適切でなく、本当に災害があったら機能しないのではと思った。
- ・もうすこし緊張感があった方がいいと思った。
- ・行動がルーズであった。
- ・運営に携わっている方が各々主張しあっていて收拾がつかなかった。有意義なものにしなければならない。
- ・東日本大震災を考えると、昨年の訓練は根本から再検討の要あり。
- ・後の反省会がなかったので、改善すべき点など把握できていない。

もっと多くの人に参加できるように

- ・訓練のことをもう少しはっきりと掲示板などで知らせてほしい。
- ・マンションでは町内会の情報が伝わりにくい。
- ・参加人数はあれでよかったのか？もっと多く参加して欲しい。
- ・もっと多くの人、特にマンションに住んでいる人にも参加してもらおうべきだ。

避難場所の確保が心配

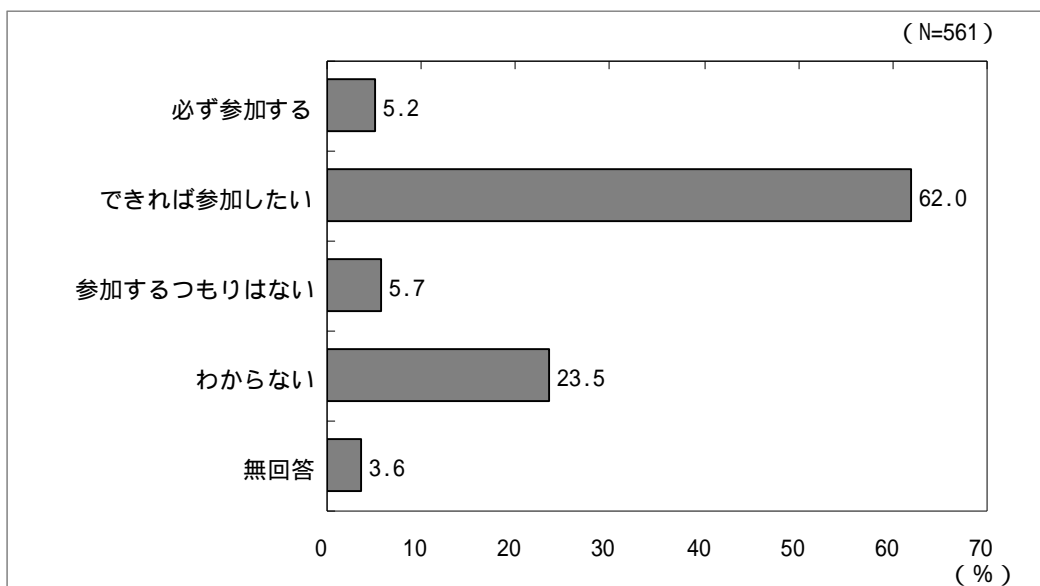
- ・避難場所の確認。
- ・五条小学校が集合場所となっているが、自宅から近い病院や天王寺商業、夕陽丘高なども臨機応変に使わせて欲しい。

[その他]

- ・災害の際の連絡先等詳しい情報をインターネット等でいつでも入手できるようにしてほしい。
- ・家族の中で5人中1人のみ参加したので、実際訓練になっているか心配である。
- ・知らなかったというか、注意深く日々確認していませんでした。関心がなかった訳ではないのですが...
- ・知っていたが、役員が参加することになっていた。
- ・全く知りませんでした！
- ・今後もう少し興味を持とうと思います。

(3) 今後の防災訓練への参加意向(問20)

- ・「できれば参加したい」が62.0%で最も多く、ついで「わからない」が23.5%となっている。参加意向がある人(「必ず参加する」と「できれば参加したい」の合計)は67.2%(5.2%+62.0%)となっている。
- ・子どもの状況別では「子どもがいる」、住宅形態別では「マンション等(持ち家)」において、「できれば参加したい」の割合が高くなっている。



(上段:人, 下段:%)

		必ず参加する	できれば参加したい	参加するつもりはない	わからない	無回答	
全体		(N=561)	29 (5.2)	348 (62.0)	32 (5.7)	132 (23.5)	20 (3.6)
子ども (高校生以下)	いる(高校生以下)	(N=212)	8 (3.8)	155 (73.1)	9 (4.2)	39 (18.4)	1 (0.5)
	うち、未就学児がいる	(N=78)	3 (3.8)	62 (79.5)	4 (5.1)	9 (11.5)	0 (0.0)
	うち、小学生がいる	(N=91)	6 (6.6)	62 (68.1)	5 (5.5)	18 (19.8)	0 (0.0)
	うち、中学生がいる	(N=68)	3 (4.4)	43 (63.2)	4 (5.9)	17 (25.0)	1 (1.5)
	うち、高校生がいる	(N=60)	1 (1.7)	46 (76.7)	0 (0.0)	12 (20.0)	1 (1.7)
	いない	(N=286)	20 (7.0)	158 (55.2)	21 (7.3)	81 (28.3)	6 (2.1)
住宅形態	一戸建て(持ち家)	(N=240)	18 (7.5)	141 (58.8)	16 (6.7)	58 (24.2)	7 (2.9)
	一戸建て(賃貸)	(N=8)	0 (0.0)	5 (62.5)	0 (0.0)	3 (37.5)	0 (0.0)
	マンション等(持ち家)	(N=182)	6 (3.3)	133 (73.1)	10 (5.5)	33 (18.1)	0 (0.0)
	マンション等(賃貸)	(N=109)	5 (4.6)	61 (56.0)	5 (4.6)	34 (31.2)	4 (3.7)
	その他	(N=11)	0 (0.0)	6 (54.5)	1 (9.1)	4 (36.4)	0 (0.0)

(4) 地域の防災対策について、知りたいことや不安に思うこと、取り組んだらよいと思うことなど(問21・自由記述)

避難訓練

子どもや若い人の参加を

- ・若年層に参加して頂けるように考えて欲しい。
- ・子どもと避難の訓練をし、子どもたちにも防災の大切さを知らせたい。

避難訓練の充実を

- ・五条地域よりも先に、町会単位での防災訓練を充実させた方がよいのではないか。
- ・形だけの計画や訓練ではなく、具体的なものでないと実際の災害時に困る。
- ・消防による人工呼吸、心臓マッサージなどの訓練をし、多くの人がマスターする。
- ・避難訓練の回数を増やして欲しいと思っています。
- ・夏季だと参加する人が増えるように思います。
- ・元気な人だけで避難訓練や防災訓練をしても不十分。近所づきあいのない人(単身者や町会に入っていない賃貸住宅住まいの人など)や老人や障がい者にももれなく避難場所や経路の指示が行き渡るよう徹底する、または徹底できる体制づくりをする。
- ・訓練で上手くいっても、実際の非常時に訓練通り上手くいくのかが心配である。
- ・「町会ごとに集合して避難をする」となっておりますが、混雑して大変だと思います。

避難場所

避難場所が足りるのか心配

- ・地域住民の人数に対し避難場所が少ない。私学の学校なども避難できる場所として利用できるようにしてはどうか。
- ・避難場所が小学校になっているが、在校生、保護者だけでグラウンドがいっぱいになるのに(運動会などで)、実際に災害が起こった時に避難場所として機能するかが不安である。マンションが無制限に建設されているようで不安である。
- ・緊急時の避難場所として各町会単位ごとの公共の空き地を確保しておければよいと思う。緑地化して普段は緑の景観地として、防災用空き地としても利用できる。
- ・地震の時と津波の時の避難場所は本来異なると思われるが、最近建て替えられた大阪ビジネスフロンティア高等学校(旧天王寺商業高等学校)が避難場所になれば津波の時は安心である。
- ・津波などがもしあればどこに逃げられるのか?高いビルに入りたくても、ロックされていては入れないのではないかと(事前にビル名など決めておいて欲しい)。

避難場所を知らない

- ・災害時の避難場所を知りたい。
- ・小学校よりも四天王寺の方が近いが、避難を受け入れて頂けるのが不安。
- ・どこに避難したらいいのかわからない。
- ・避難場所と経路をもっとわかりやすい場所に、もっと数を増やして掲示して欲しい。

建物の耐震強度や火災など

避難場所の耐震性が不安

- ・3/11の際ちょうど五条小学校体育館にいた子どもが「すごく揺れた」と言っていました
が、壁や天井の安全性はいかがでしょうか？
- ・避難場所が安全かどうか不安。

建物の倒壊と火災発生が不安

- ・住宅地の中に古い空家などがあり、防犯はもちろん防災面で倒れる危険もある。持ち主への連絡など個人ではできないので、しっかりと把握して注意して欲しい。
- ・今年の3/11のような規模の地震が起きた場合、五条での倒壊の恐れのある場所。
- ・家が密集しているため地震による火災発生が心配。
- ・天災よりも一番怖いのは火事だと思う。防火用水などの設備場所の周知を望みます。
- ・老朽化した家屋（空き家）、ブロックを高く積んだだけの塀、地震で倒壊の恐れありで不安。
- ・天王寺区は津波の被害より火事の被害を心配する必要があるのだろうと思います。火事対策を強化した方がよい。火事について考えて頂ければありがたいです。
- ・自宅および近所の家の耐震性などを知る方法（有料でも）があればよいと思う。

物資・食料など

備蓄物資が足りるのか不安

- ・住環境が厳しく水などの備蓄は個人で難しい。人口当たりの公的な備蓄に不安。
- ・地域にどれぐらいの備蓄品があるのか気になる。
- ・もし断水した時の水の確保。

避難所設置のための資材の確保

- ・避難場所の設備を充実させること。体育館などには畳を敷けるようにしたり、冷暖房、蓄電池や自家発電などを備えて欲しい。
- ・災害時に利用できるトイレや、水道が機能しなくなった際に利用できる給水の備えがあるのか知りたい。
- ・今までの被災地をみると、手厚い救援がある所と放ったらかしな所との差が大きい。毛布や水の備蓄だけでなく、腐らない物ならもっと種類を多く備蓄してはどうか。
- ・災害時に使える機械や道具のマップ。

各家庭で何を備蓄すべきか知りたい

- ・避難場所にどのような物が設置されて、用意すべき物が何か知りたい。
- ・食料は何人×何日分あるのか、住民は何をすればよいのかなどの情報が不明。想定（モデルケース）でもよいので提示して欲しい。
- ・役立つ防災グッズを安く提供して欲しい。

乳児・高齢者・障がい者などの避難

高齢者がいるので災害時が心配

- ・年寄りがいるので大災害時心配。一人暮らしの娘と連絡が取れるか心配。
- ・足が悪いので不安が多いです。周りの方に助けて頂いて、避難の場所に早く行けるよう心がけています。
- ・独居高齢者にどのような対策を考えて下さるのか、不安は限りなくあります。全く身寄りのない人にはどんな方法があるのかお考え下さい。
- ・家族がバラバラな時間帯に高齢者を連れて避難することが難しく、不安である。
- ・夫婦は聴力障がい者ですから、火事とか地震とか起きた場合サイレンとか呼び出しの声を聞けず不可能なため、よい方法を聞きたい。近所のおつきあいもよいので、助けて頂くこともできますが...
- ・高齢者の一人暮らしの方が多く、身内の方への連絡ができるのか心配です。

要援護者の避難について、災害時の対応を決めておくことが必要

- ・災害のあった時には若い世代の人たちが老年世代（世帯）に声かけをしてもらいたい。
- ・特に老人世帯への声かけ、避難の確認の方法について、関係者の協議に基づく合意とその周知徹底をお願いしたい。
- ・自分の近隣でお年寄りが住んでいる家を住民同士で把握し、対応を考えることが必要
- ・高齢者、歩行困難な人をチェックしておくことが重要と思う。
- ・高齢の独居の方など災害時に避難をスムーズに行えるように見守り活動を利用して、一人で動けない人々をどのように支援するのか動ける程度を把握して、どこに何人のマンパワーが必要なのか情報を集めておくとういと思う。
- ・幼い子はどうしてもうるさくしてしまいそうなので、子どもを持つ家庭とその他との世帯で分けて避難できるような方法も考えてあると安心できます。

情報の伝達・把握、啓発

防災についての広報・啓発の充実が必要

- ・防災活動への意識を高め参加率を高めるためにも、防災活動についての通知、広報をもっと増やして欲しい。あまりそういった情報が伝わってきていないように思う。
- ・防災対策についてあまり知らない。具体的にどのような取り組みが行われているのか、もっと積極的に情報を公開して欲しい（ネットなどでも）。
- ・地域での防災対策がどのようになされているか知らない。パンフレットやその他、住民に大切なことを一度でなく何度も知らせることがいいと思う。呼びかけが大切。
- ・地域の行事（お祭りなど）の時、5～10分程度でもよいので防災に対する心構えなどのお話をして頂ければと思います。
- ・避難場所や災害対策のチラシを定期的に掲示板などに。
- ・情報がなく、知らないことが多い。その反面、参加できる時間もない。地域の情報紙を作って欲しい。インターネットでは見逃される。

- ・新築の家やマンションに連絡（情報）が行き届くようにして欲しい。

どのような災害が起こるのか、被害が発生するのを知りたい

- ・上町台地は地震の際断層による被害が予想されているが、どのような被害が予想されるかなどの被害予測。
- ・地域の詳しいハザードマップが欲しいですね。
- ・津波時の対策。メートルならどこまで浸水するか知りたいです。危険マップ（壁が崩落しそうな建物）などの作成。
- ・上町断層の近くということですが、過去にどんな地震があってどのような被害があったのか、近い将来に大地震は起こり得るのを知りたいです。
- ・地域内の災害時に不安全となる場所が不明。
- ・上町断層の正確な位置を知りたい。

どのような準備と対処が必要なのを知りたい

- ・災害時の避難場所を把握していない人が多いと思うので、地区ごとにわかりやすいマップを作ってほしい。仕事で訓練に参加できないので、防災の冊子を頂きたい
- ・防災訓練などに参加しなくても、文書などでわかるようにして欲しいと思います。
- ・地域の防災対策について全く知らなかったなので、いろいろ知りたい。具体的な防災のノウハウについて教えて欲しい。
- ・具体的な防災知識を得たい。例えば、ガス・電気の安全な切断（停止）法、エレベーターが非常停止した時。
- ・断水した場合、給水はどこで行われるのか知りたい。

災害時の情報伝達が心配

- ・子どもが五条地域以外の保育園に通っている。天王寺区内の地域間の連絡・連携フォローを取り決めて欲しい。
- ・災害時の区からの情報はどのように伝わるのか、またはどのように入手したらよいか明確にして欲しい。
- ・災害時、集合場所は決めているのですが、なかなか会えない時どこに行けば個人の情報がより早くわかるのか、表示などはしているのでしょうか？例えば五条グラウンドに町会別の受付のような所があるのか、参加（訓練）していない人でもすぐにわかるのかな？と…。
- ・子どもや親が離れてしまった時の連絡方法など、確実なものが欲しいです。
- ・災害時には町内で何か知らせ（サイレンやスピーカーによる放送など）があるのか？
- ・我が家では防災放送（？）の音がよく聞き取れない。スピーカーの位置など再考を。
- ・ラジオ（有線など）などにより五条の情報を流しては？
- ・子どもがいるので、幼・小・中・高など学校の取り組みや対策の充実、情報の共有。

普段からの交流

普段からの交流が重要

- ・ご近所の家族構成などあまり知らないので、情報伝達のために互いをよく知っておくことが必要である。
- ・日常（日頃）から近隣の方々との顔見知りと親しくおつきあひする、声かけをつくる機会が一回でも多ければと思います。
- ・引っ越しして長くないため、災害が起きた時に地域のつながりが薄いのが不安です。
- ・何かにつけ近隣の方とのつきあひをできるようにしておき（挨拶程度でもよい）、日頃から些細なことでも話ができる人を増やしておく。
- ・日中は仕事で不在な上に、子どももいませんのでご近所とあまり交流がありません。災害時に誰が誰かわからず困るのではという不安があります。
- ・地域の子どもの様子に関心を持って見守って、人と人とは声かけ、挨拶をすることは大事なことです。見守り助け合うこと。

何をすればよいかわからない

- ・災害時、実際にどのように判断し動けばよいのか不明な点が多くあります。地域や公共の防災対策ももちろん重要ですが、それぞれの家庭で個としての防災に対する心構えを堅固に持つことが大事なのでは。

その他

地域の防災体制

- ・この地域が地震などで被害を被っている時は大阪市全体が壊滅的な状況になっていると思うので、すごい準備をしないとイケない。
- ・区役所の防災責任者と担当者の携帯番号を地区防災担当者に知らせる必要あり。
- ・区役所に頼ることができるのかということが不安。
- ・地域の防災責任者をもっと若い人にして欲しい。
- ・町会単位で絶対参加のものをつくるべき。またリーダーは少なくとも50代以下で、自分の力で正しく判断できる人が必要。更にその人の指示は絶対を守るという周囲の住民の姿勢も徹底すべき。
- ・参加していないのでよくはわからないが、中心となる人（指示を仰ぐことや、物を配る人）が高齢の方でないことばかりを願います。

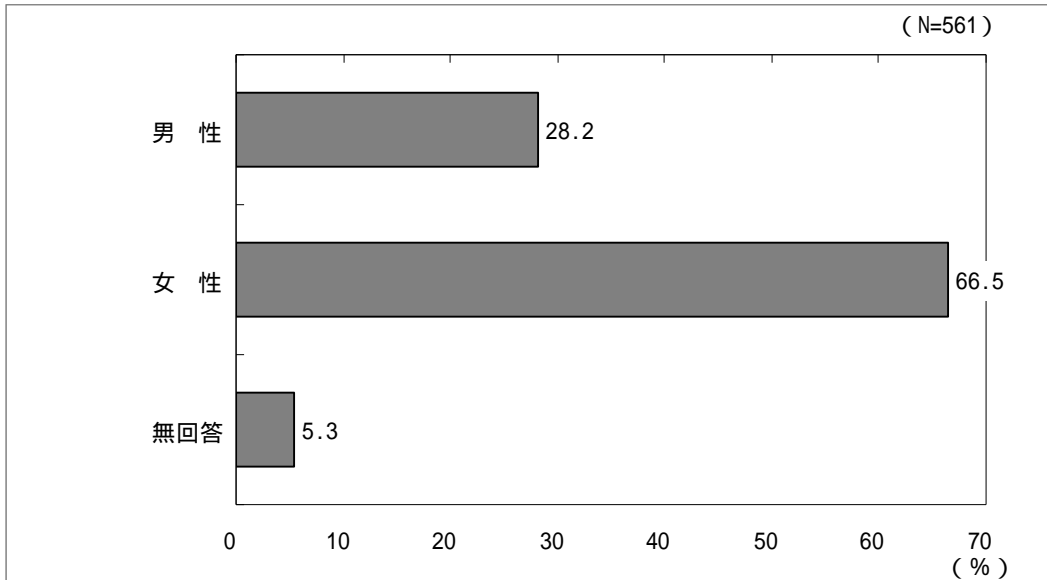
その他

- ・最近マンション建設が多く人口が増加しているように思うが、防災対策、特に災害後の避難生活などが必要になった場合の対策が追いついているのか疑問に思う。
- ・被災して住宅（マンション含む）が壊れた場合、再建するための相談窓口や再建のためのメニュー。

4. 回答者の基本属性（問22）

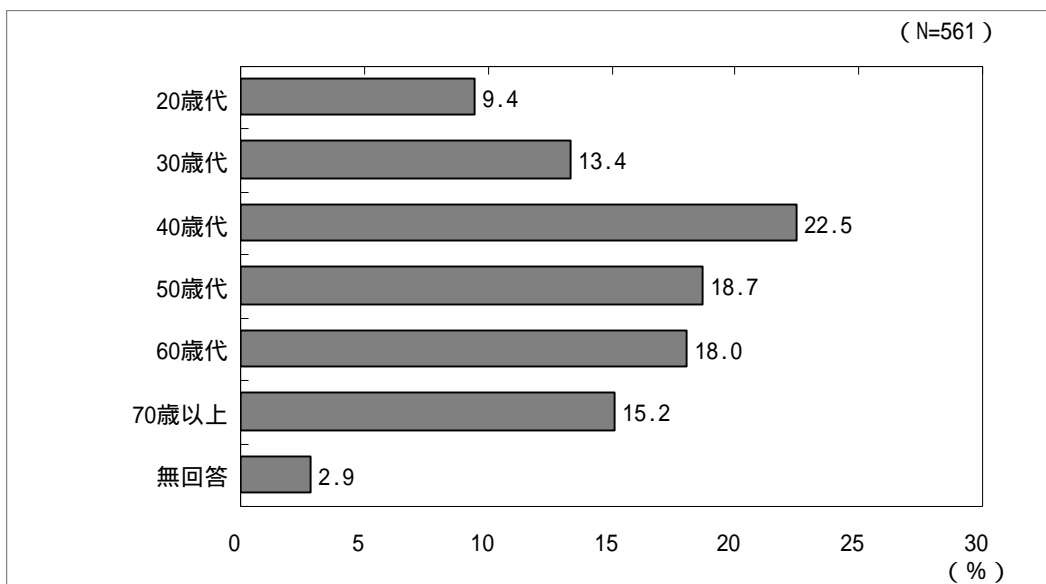
（1）性別

・「男性」が28.2%、「女性」が66.5%で、「女性」のほうが多い。



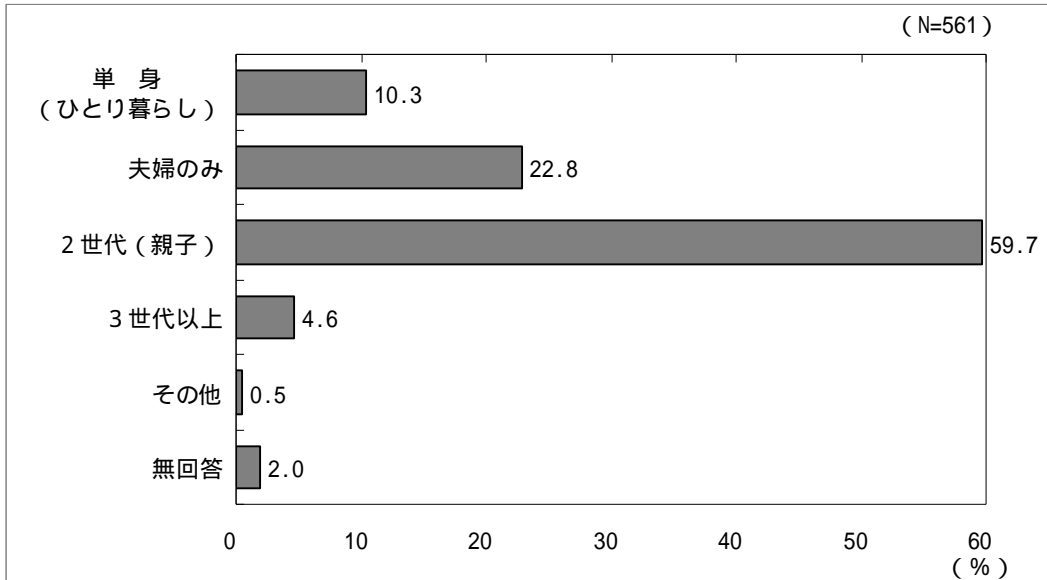
（2）年齢

・「40歳代」が22.5%で最も多く、ついで「50歳代」が18.7%、「60歳代」が18.0%、「70歳以上」が15.2%となっている。



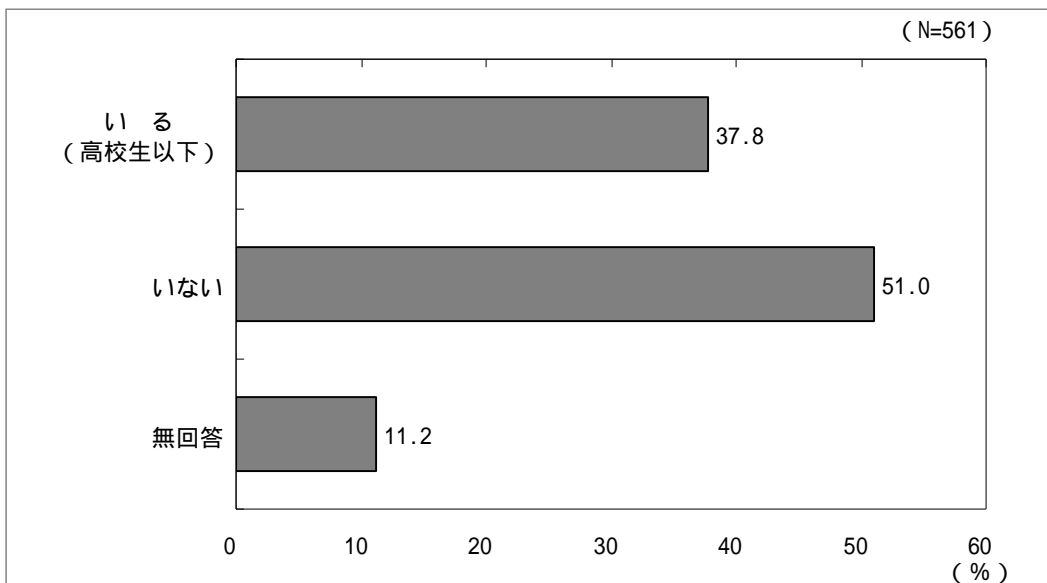
(3) 同居する家族の構成

・「2世代(親子)」が59.7%で最も多く、ついで「夫婦のみ」が22.8%、「単身(ひとり暮らし)」が10.3%となっている。



(4) 子ども(高校生以下)の有無

・「いる(高校生以下)」が37.8%、「いない」が51.0%で、「いない」のほうが多い。



(5) 住宅形態

・「一戸建て(持ち家)」が42.8%で最も多く、ついで「マンション等(持ち家)」が32.4%、「マンション等(賃貸)」が19.4%となっている。

